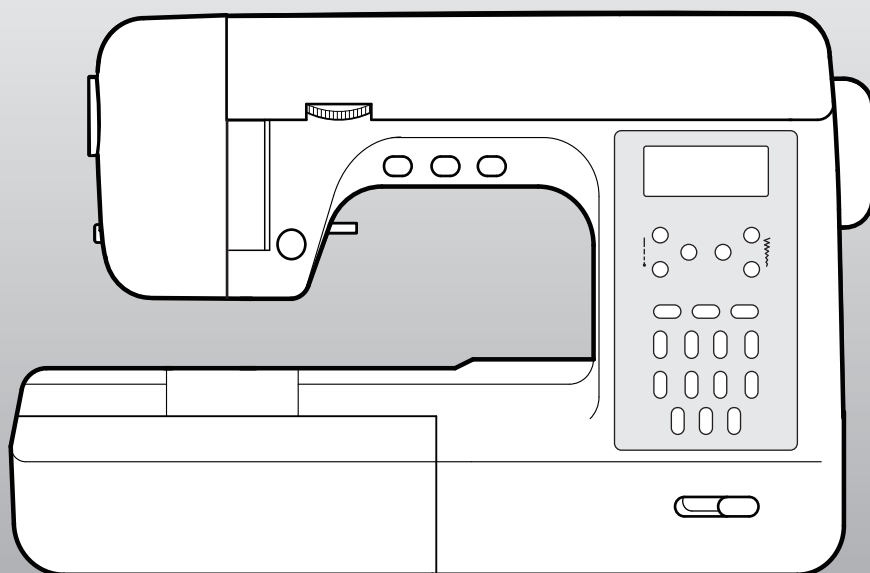


取扱説明書

Computer Sewing Machine

コンピューターミシン SCM 988



お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らなければ
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いを示しています。この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、
この製品を安全にご使用ください。
また、お読みになった後は、いつでも見る事が出来るように
必ず保管してください。

お使いになる前にお読みください

安全上のご注意	2
取り扱いのお願い	3
付属品	4
補助テーブル	4
各部の名まえ	5

操作の仕かた

返し縫いボタン	6
ゆっくりボタン	6
針上下ボタン	6
ドロップフィード（送り歯高さ切り替え）	6
押え圧力調節ダイヤル	6
押え	7
電源を入れる前に	8
電源を入れる	8
スピード調節	9
フットコントローラー	9
操作パネル	10

縫う前の準備

ボビンの取り出しかた	12
下糸の巻きかた	12
下糸のセット	13
上糸の掛けかた	14
針穴糸通し器	15
下糸の引き上げかた	16

縫ってみる <基本編>

直線縫い	17
糸調子の合わせかた	18
厚地を縫う	19
縫い方向を変える	19
伸縮生地を縫う	19

縫ってみる <応用編>

縁かがり縫い	20
ゴムテープ付け	21
パッチワーク	21
アップリケ	21
スカラップ	22
まつり縫い（ブラインドステッチ）	22
ボタンホール縫い	23
ファスナー付け＜突き合わせ＞	25
ファスナー付け＜脇あき＞	26
キルティング	27
針、糸、生地の関係	28

模様・文字の選びかた 液晶画面の見かた

模様を縫う	29
文字を縫う	29
記憶して縫う	29
記憶の確認と消去	30
記憶の一括消去	30

お手入れ

針の取り替え方	31
正しい針の選び方	31
ボビンケースのそうじ	32

その他

縫い模様一覧	34
困ったときは…	35
仕様	36
純正補充部品のご案内	37
修理サービス要領	38
サービス工場のご案内	38
保証書	終

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。以下の表示を無視して誤った取り扱いをすることにより生じる内容を、次のように区分しています。

以下の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

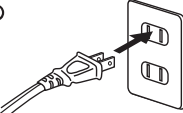
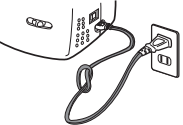
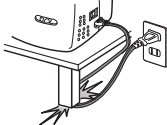
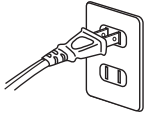
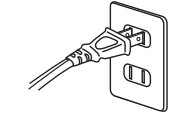
- このミシンは日本国内向け家庭用です。For use in JAPAN only. 国外での使用および職業用としてご使用になった場合の保証は出来ません。
- 仕様および外観は品質改善のため、予告なく変更することがあることをご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製をすることは禁じられておりますのでご了承ください。

	警告	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。		注意	この表示を無視して誤った使い方をすると、人がケガをしたり財産に損害が生じる恐れがある内容を示しています。
---	-----------	---	---	-----------	--

この説明書で使用している絵文字の意味は次のとおりです

危険性を促す記号			行為を「禁止」する記号		行為を「指示」する記号	
						
火災の原因になります	感電の危険性があります	ケガの危険性があります	禁止	分解禁止	必ずすること	電源プラグを抜く

 注意		   ケガや財産に損害が生じる恐れがあります。	
 	- 不安定な場所に置かないでください。 - 動作中に、はずみ車・針・天びんに手を触れないでください。 手や指が挟まる、針が刺さるなどケガの原因になります。 - 曲った針は使わないでください。 針が折れ、ケガの原因になります。 - ボビンカバーを開けたままミシンを操作しないでください。 - 縫製中に生地を無理に引っばったり押ししたりしないでください。 手や指が挟まる、針が刺さるなどケガの原因になります。 - 電源コードを巻きとる際は電源コードプラグと電源コードを持って巻き取ってください。 電源コードが当たって、ケガの原因になります。		- 電源コードは巻き付けしないでください。 コードの断線や接触不良による感電の原因になります。 - 濡れた手で電源コードプラグを抜き差ししないでください。 感電の原因になります。 - 電源コードは赤い印以上、引き出さないでください。
	- 火の気のあるもののそばでは使用しないでください。 (火の消えていないタバコ、ロウソクなど) 火災の原因になります。 - ミシン本体の換気口をふさがないでください。 換気口は、必ず壁から30cm以上離してご使用ください。 また、換気口に糸くずやホコリが溜まらないようにしてください。 火災の原因になります。 - スプレー製品などをご使用の部屋では、使用しないでください。 スプレーへの引火によるヤケド・火災の原因になります。	 	- 幼児の手が届かない場所に保管してください。 針や押えなどの突起でケガの原因になる恐れがあります。 - 糸をセットするときやミシンの手入れを行うときは電源スイッチを『OFF』にしてください。 作業途中にミシンが動く恐れがありケガの原因となります。
	ミシンを使用しないときやミシンから離れたり使用を中断するときは電源コードプラグを抜いてください。 絶縁劣化、漏電などによる火災の原因になる恐れがあります。		- ミシンの操作中はミシンから目を離さないでください。 - 交換した針を放置しないでください。 - お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するときは特に安全に注意し、お子様から目を離さないでください。 針、押え、アタッチメントを交換するときは、電源コードプラグをコンセントから抜いてください。 作業途中にミシンが動く恐れがありケガの原因となります。 - 屋外や直射日光のあたる場所、高温多湿な環境、寒い場所での使用は避けてください。 部品の劣化や変形、正常に作動しないことがあります。 - ミシン本体は必ず手持ちハンドルを持って持ち運びをしてください。 他の部分を持つとこわれたり、滑って落とすケガの原因になります。 - ミシン本体は7.5kgあります。ミシン本体を持ち運びする際は、急激・不用意な動作をしないでください。 ケガの原因になります。 - 電源コードを引き抜くときは電源コードプラグを持って抜き差ししてください。 コードの断線や接触不良による感電の原因になります。

 警告		  死亡、火災、感電の恐れがあります。	
   火災・感電の原因となります。	一般家庭用電源AC100Vの電源以外では絶対に使用しないでください。 AC100V 50/60Hz 		ミシンの中に水や異物が入ったときは、電源スイッチを『OFF』にし電源コードプラグをコンセントから抜いてください。 
	電源コードを傷つけたり、折り曲げ、結び、ねじれ、加工はしないでください。 * 電源コードがミシンに収納出来なくなります。 		発煙や異臭、異音などの異常が発生したら電源スイッチを『OFF』にし電源コードプラグをコンセントから抜いてください。 
	傷付いたり、溶けて線がむき出しになったコードを使わないでください。 * コードが傷付いた場合は販売店・サービスセンターにて純正部品をお買い求めください。 		落としたり正常に作動しないときは電源コードプラグをコンセントから抜いてください。 
	電源コードに机や椅子の脚など、重いものを載せないでください。 	火災・感電の原因となります。 販売店・サービスセンターにご連絡ください。	電源コードプラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 
	延長コードや分岐コンセントを使用したタコ足配線はしないでください。 		ミシン本体の換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。 

取り扱いのお願い

長くお使い頂くため、次のことを守ってください。

縫製以外や業務用、職業用の目的には、ご使用にならないでください。極度の部品摩耗や破損につながります。

 注意		  ケガやミシンの故障が発生する恐れがあります。	
--	--	--	--

■使用後は、上糸を外す。

収納の際にけ掛けていた糸が外れている場合があります。そのまま縫い進めると故障の原因になります。

■曲がった針を使わない

曲がった針を使うと、次のようなケガや部品の損傷につながります。

・針穴に刺さらず、折れた針が飛びケガをする恐れがあります。・押えや針板に傷を付け、糸調子が合わなくなります。

■このミシンで縫えないもの

つぎのものはこのミシンでは縫えません。針やモーターなどに過度の負担をかけ、故障の原因になるだけでなく、針折れなどの原因にもなります。

・木、プラスチック、金属などの板・ぬれた生地、粗い網(漁網など)・はずみ車を手で回しても、針が刺さりにくい生地、厚さ6mm以上の生地

■保管時の結露(つゆつき)について

寒いところから、暖かい室内に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋では、本体の表面や内部に結露(つゆつき)が起こることがあります。結露がなくなるまで、電源コードプラグをコンセント(家庭用電源)に接続しないでください。そのままお使いになると感電や誤動作・故障の原因になります。

■直射日光・熱気をさける

直射日光が当たる場所や熱器具の近くには置かないでください。プラスチックのカバー部分や内部部品に変色・変形や部品劣化などの悪い影響を与えますのでご注意ください。

■糸絡みのとき、糸・生地を引っばらない

針や部品を破損します。

■ミシン表面のお手入れ

プラスチック部分の汚れがひどいときは、中性洗剤をぬるま湯に薄め、布に浸してかたく絞り、乾いた布で仕上げてください。

* ベンジン・シンナー・ワックスなどで拭かないでください。

■説明書で指定された以外の分解・改造はしない

ネジ類の締め忘れやゆるみにより、針折れや部品の破損につながります。

■長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないと、油の乾燥・固着などで機能に支障をきたす場合があります。時々、ミシンを動かしてください。油の固着を防ぐことが出来ます。

付属品

* 必ず専用の付属品をご使用ください。

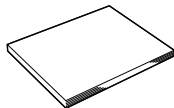


注意



・付属品でお子様がケガをする恐れがあります。
保管には充分ご注意ください。

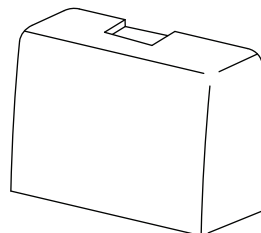
● ミシンと同梱されている付属品



取扱説明書（本書）

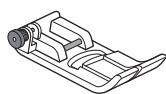


フットコントローラー

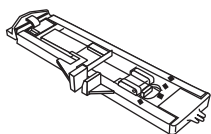


ミシンカバー

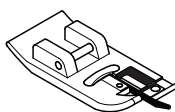
● 補助テーブル内の付属品



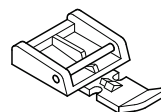
ジグザグ押え
（本体にセット）



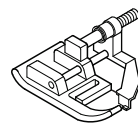
ボタンホール押え



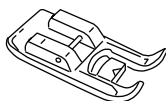
縁かがり押え



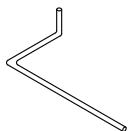
ファスナー付け押え



まつり縫い押え



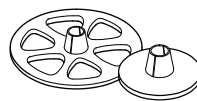
サテン押え
（透明）



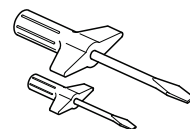
キルティングガイド



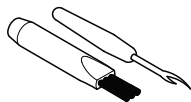
針板ドライバー



糸こま押え
（大・小各1個）



ドライバー
（大・小各1本）

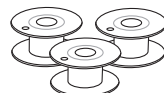


リッパー
（ブラシキャップ付）



家庭用ミシン針 5本

*16番：1本
14番：2本
11番：2本

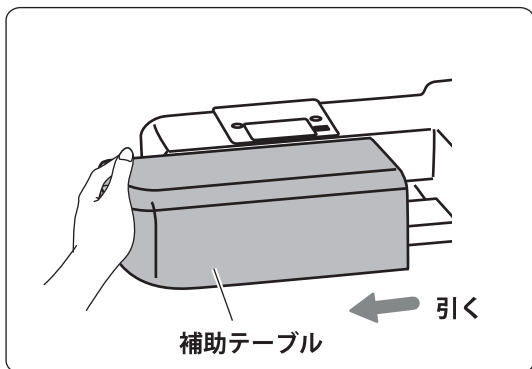


ボビン 3個
（本体に1個装備）

* 水平釜用プラボビン
（11.5×20.5mm）

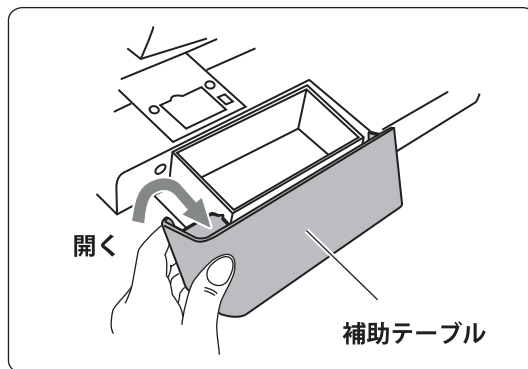
補助テーブル

● フリーアーム



ズボンの裾上げなど筒物を縫う際は、
補助テーブルを左に引いて外します。

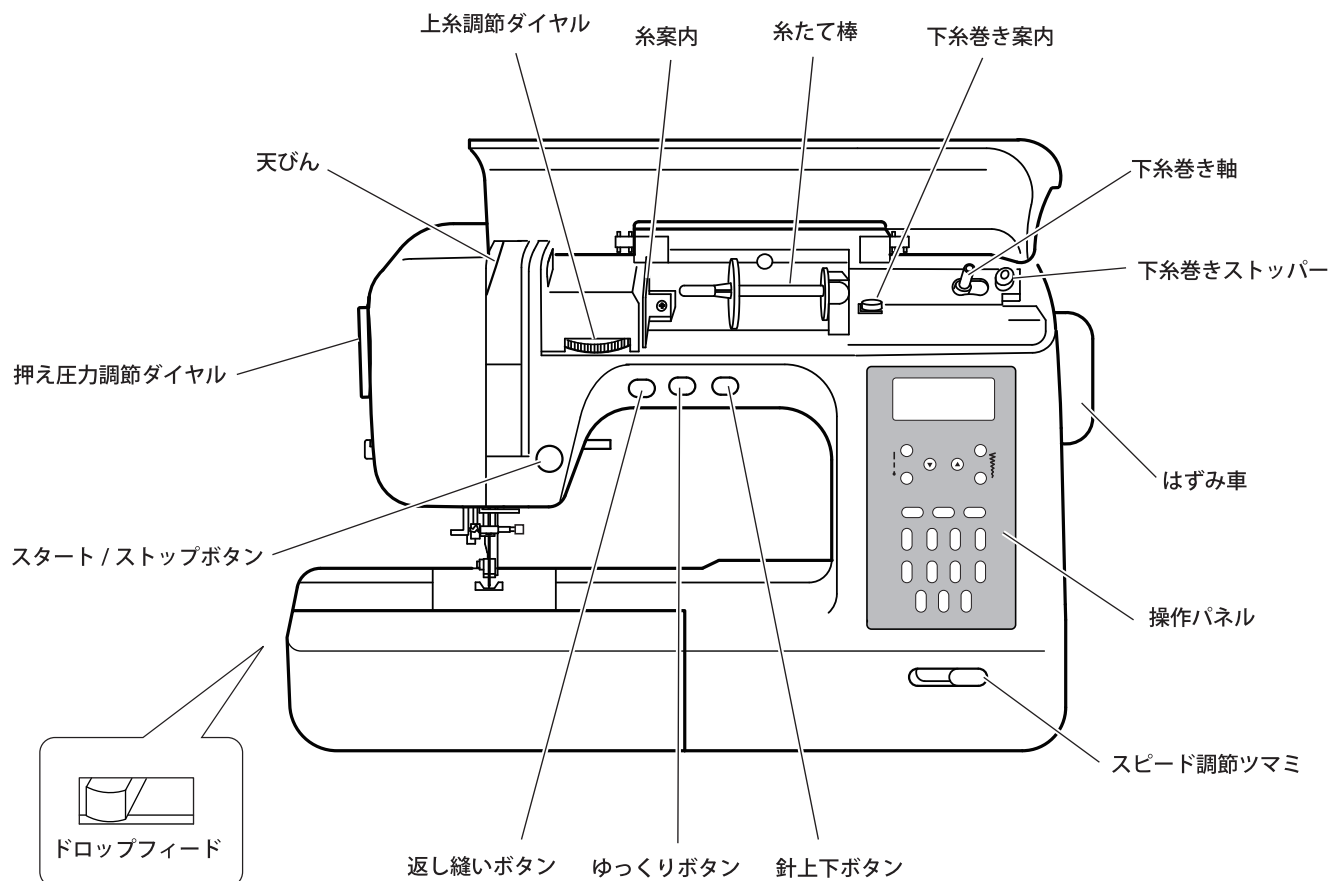
● 付属品の出し入れ



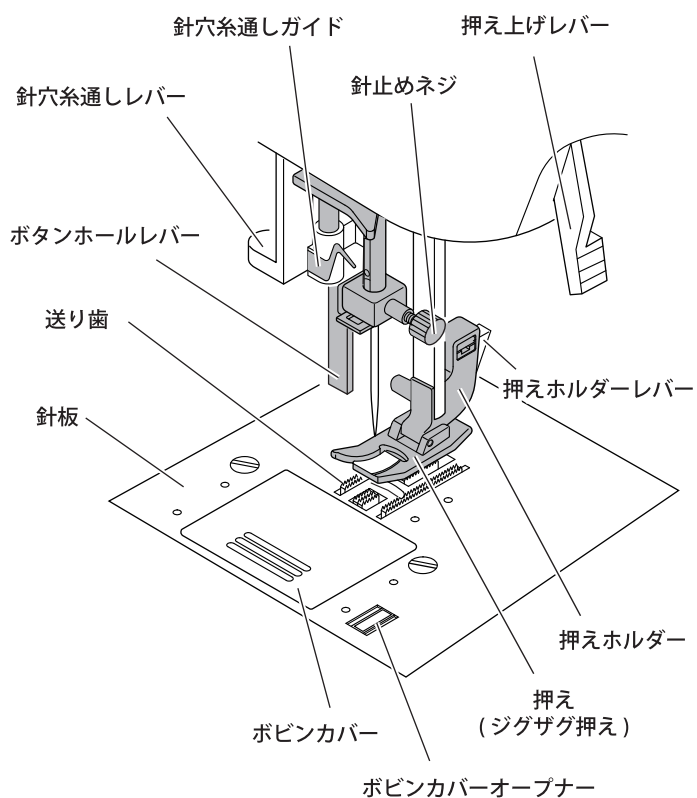
補助テーブルを手前に開くと付属品の
出し入れが出来ます。

各部の名まえ

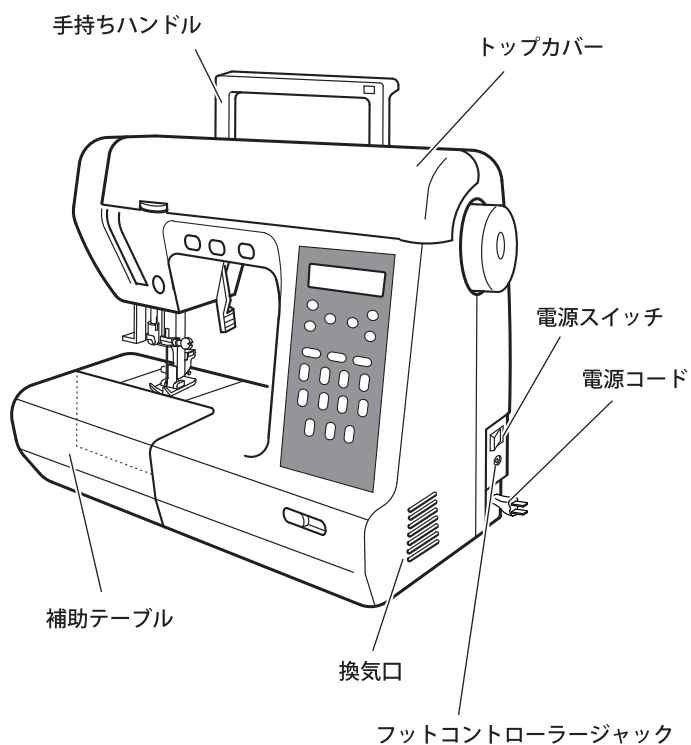
● 本体



● 針周辺



● その他



返し縫いボタン

返し縫いボタンを押している間は返し縫いになります。
(返し縫い中の速度は低速になります。)
縫い始めと縫い終わりに返し縫いを行うと
ほつれ止めになります。

ゆっくりボタン

ゆっくりボタンを押している間は縫い速度が
<低速>になります。

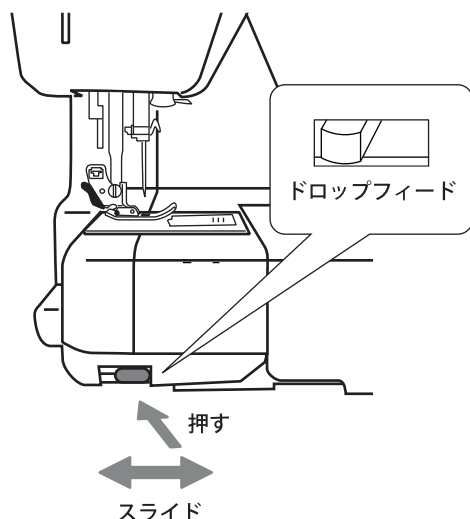
針上下ボタン

針が上がっている状態で針上下ボタンを押すと
針が下がり、針が下がっている状態で
針上下ボタンを押すと針が上がります。

* 押えを下げた状態でご使用ください。
(押えが上がった状態では、針は上で停止します。)

ドロップフィード（送り歯高さ切り替え）

刺しゅうやキルトなど生地を手で動かして縫う際に、送り歯を下げる事が出来ます。



● 送り歯を下げる場合

ドロップフィードボタンを押し込みながら、ミシン後方へ
ドロップフィードボタンをスライドさせます。

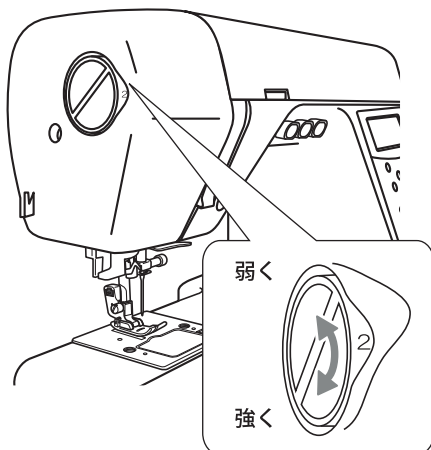
● 送り歯を上げる場合（通常縫い）

ドロップフィードボタンを押し込みながらミシン前方へ
スライドさせます。

* 送り歯が上がってこない際は、はずみ車を
手前に1回転すると送り歯が上がります。

押え圧力調節ダイヤル

生地の厚さやすべり具合によって、生地を押える押え金の圧力を調節することが出来ます。



● うす地、やわらかい生地の場合：

ダイヤルを小さい数字へ回します。

● 厚地、すべりの悪い生地の場合：

ダイヤルを大きい数字へ回します。

* 通常は<2>でご使用ください。



注意



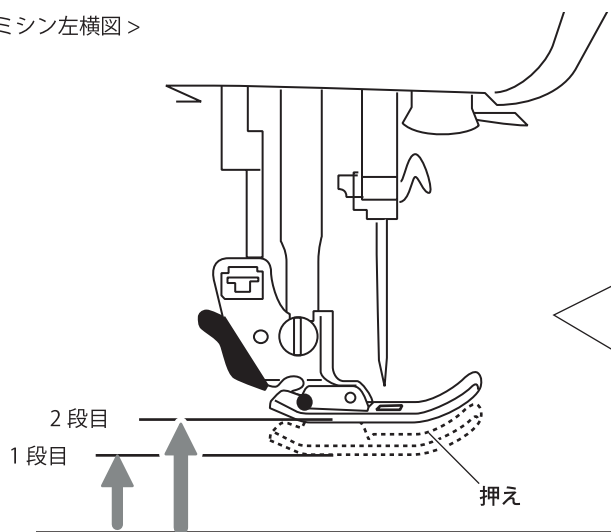
・電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。



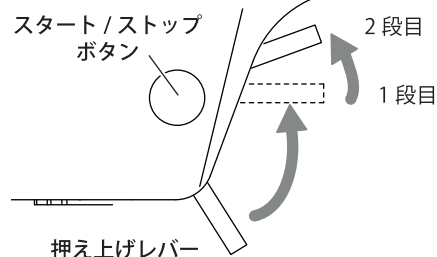
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

● 押えの上げ下げ

< ミシン左横図 >



< ミシン正面図 >

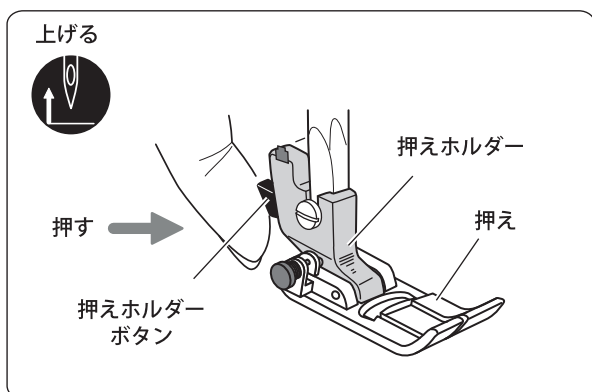


押え上げレバーを上げると、押えがあがります。更に押え上げレバーを上げると押えがあがる2段階式になっています。

* 2段目では固定が出来ません。

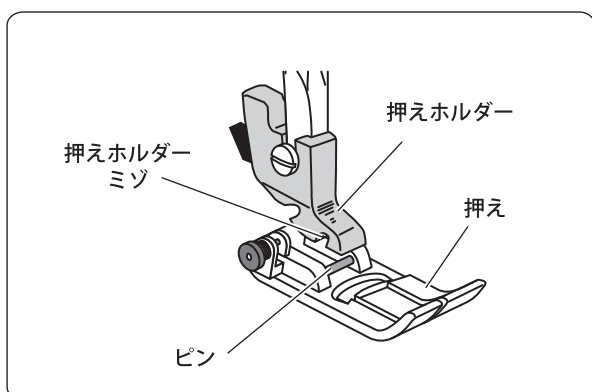
* 生地の手厚みは1段目の高さを超えないようにしてください。

● 押えの外し方



- 1 はずみ車を回し、針を最上位にします。
- 2 押え上げレバーを上げます。
- 3 押えホルダーボタンを押すと、押えが外れます。

● 押えの取り付け方



- 1 押え上げレバーを上げます。
- 2 押えのピンを押さえホルダーミゾの真下に置きます。
- 3 押え上げレバーをゆっくり下げ、押えのピンと押えホルダーミゾを合わせます。

* 押えがすぐに外れる際は、押えのピンと押えホルダーミゾが合っていない。
もう一度押えの位置を確認してください。

電源を入れる前に

縫い損じを防ぐため、次のことを実施してください。



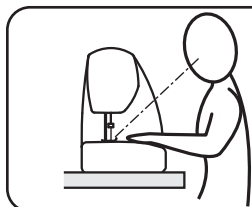
注意



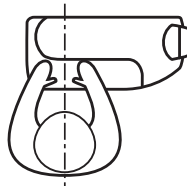
- ・安定した場所に設置する。
- ・作業スペースを十分に確保する。
- ・周囲に物を置かない。

はずみ車や針など動く部分が露出しています。ケガの原因になります。

● ミシンをより快適に使うために



針先が無理なく見える位置にミシンを設置してください。



針の中心と身体の中心が一致するようにミシンを設置してください。

1 本体に糸が掛かっている場合は糸を外す。

収納の際に掛けていた糸が外れている場合があります。そのまま縫い進めると、故障の原因になります。

2 はずみ車を手で回してみる。

ミシンが正常に動くかを確認します。針が曲がっていると、釜に針が当たったり、針穴に針が刺さりません。

電源を入れる



注意



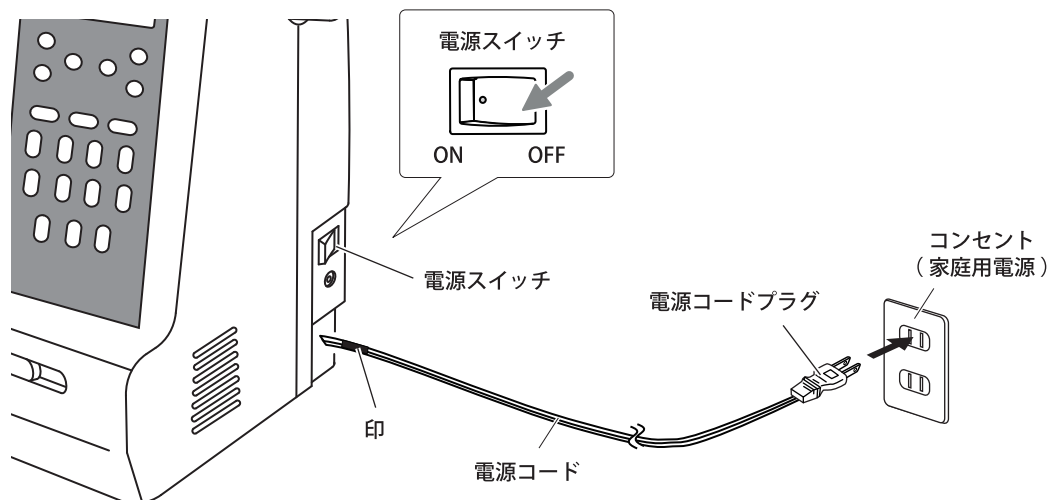
- ・電源スイッチを『OFF』にする。
 - ・はずみ車や針周辺に手や物を置かない。
- 突然動くとケガをする恐れがあります。



警告



- ・電源コードはプラグ部分を持って抜き差しする。
- コードを引っ張ると、電源コード部分が破損し、死亡、火災、感電、機器故障の原因になります。



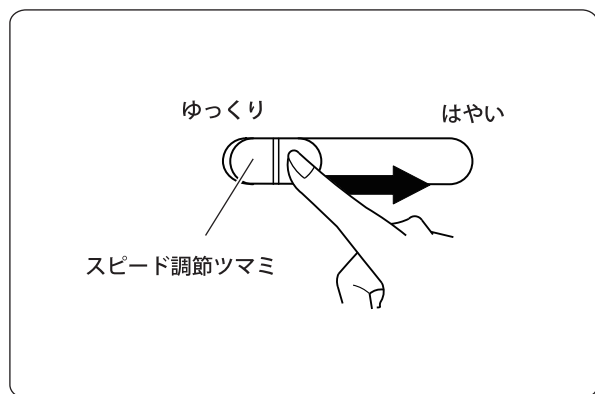
- 1 電源スイッチを『OFF』にします。
- 2 電源コードを引き出し、コンセント（家庭用電源）に電源コードプラグを差し込みます。
- 3 電源スイッチを『ON』にします。（液晶画面、ランプ、スタート/ストップボタンが点灯します。）
＊ 起動音が鳴り、針が動くことがあります。故障ではありません。
- 4 スタート/ストップボタンが青色の時にボタンを押すとミシンが動き始めます。
- 5 もう一度押すとミシンが止まります。（スタート/ストップボタンが赤く点灯している際は動きません。）

＊ 使用後のコード収納時は再度3～5cm引き出し、電源コードプラグと電源コードを持って巻き取ってください。

＊ コードリール部分は印が見えたら、それ以上は引き出さないでください。
コード部分が戻らなくなってしまう。また、断線の原因にもつながります。

スピード調節

ミシンの運転速度を好みのスピードにセットします。



ゆっくり：スピード調節ツマミを左方向へスライドさせます。

はやい：スピード調節ツマミを右方向へスライドさせます。

フットコントローラー



注意



- ・電源スイッチを『OFF』にする。
 - ・はずみ車や針周辺に手や物を置かない。
- 突然動くとかげをする恐れがあります。



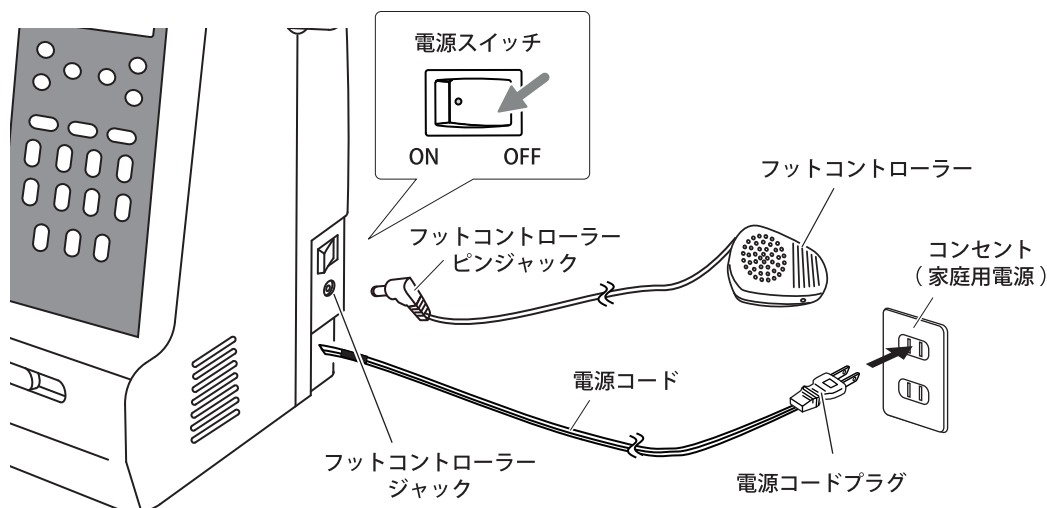
警告



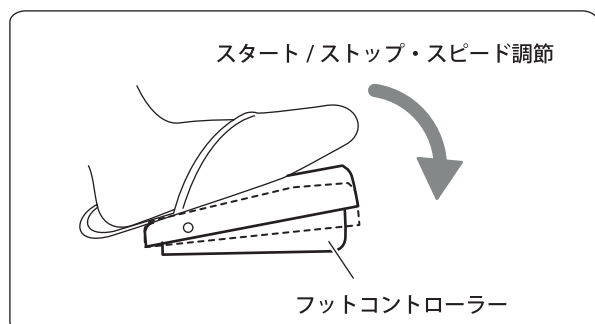
- ・作業後はフットコントローラー
ピンジャックをミシンから抜く。



- ・フットコントローラーに
物を載せない。

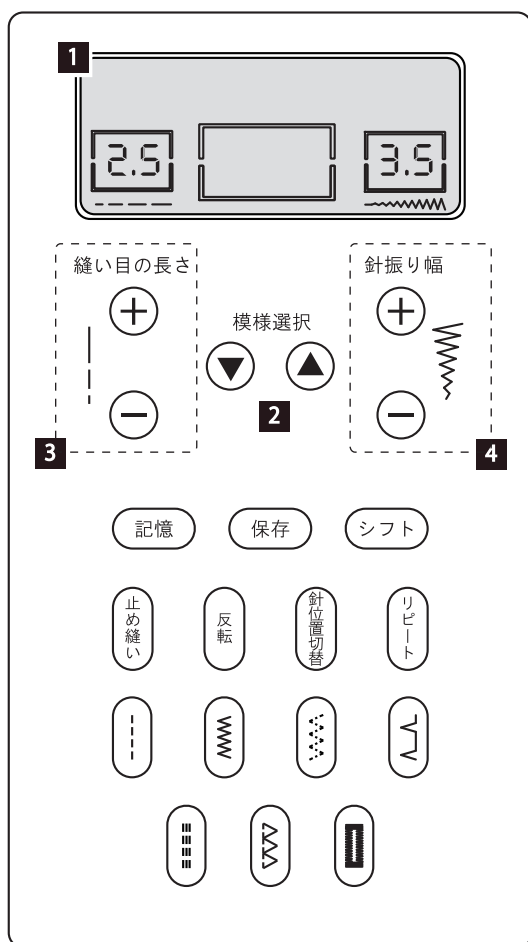
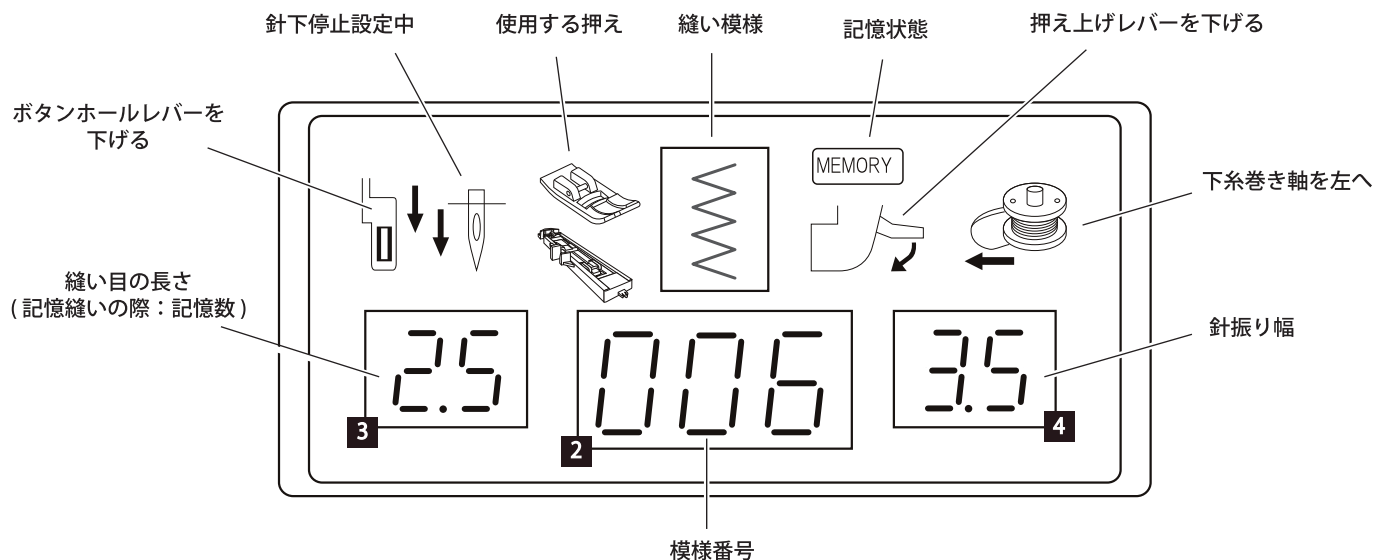


- 1 電源スイッチを『OFF』にします。
- 2 フットコントローラーのピンジャックをミシン本体のフットコントローラージャックに奥まで差し込みます。
- 3 電源コードプラグをコンセント（家庭用電源）に差し込み、電源スイッチを『ON』にします。
- 4 フットコントローラーを少しずつ踏み込むと、ミシンが動き始めます。
- 5 フットコントローラーから足をはなすと、ミシンが止まります。



- * スピード調節ツマミが『ゆっくり』の位置にあると、フットコントローラーを踏み込んでもスピードは速くなりません。
- * フットコントローラーを接続している際は、スタート/ストップボタンは操作出来ません。
- * 押えが上がっている際は、ミシンは動きません。

操作パネル



1 液晶画面

電源スイッチを『ON』にすると、液晶画面が点灯します。
約 30 秒間ミシンを使用していないとバックライトが消灯します。
いずれかのボタンを押すと再度バックライトが点灯します。

2 模様選択ボタン

トップカバーに記載されている模様番号順に表示されます。

- ▲ ボタン：小さい模様番号に移動します。
- ▼ ボタン：大きい模様番号に移動します。

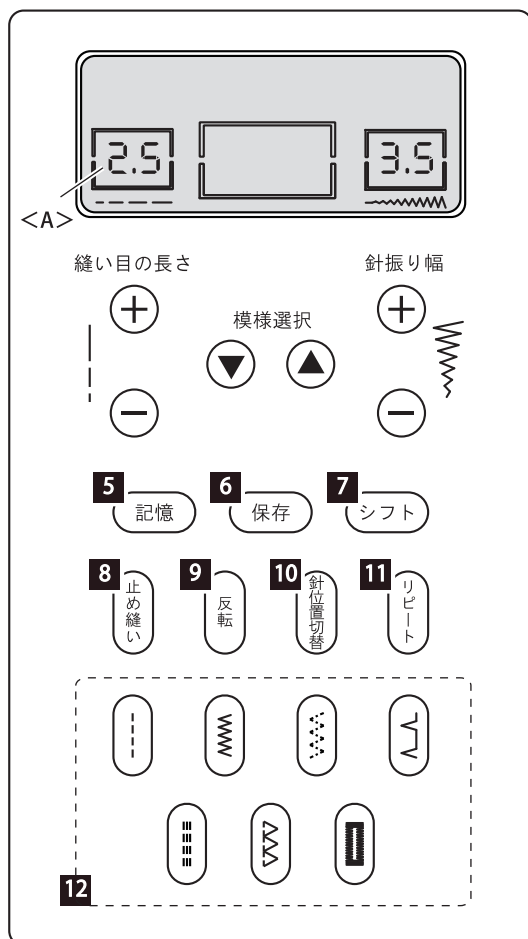
3 縫い目長さボタン（粗い⇄細かい）

- ⊕ ボタン：縫い目の長さを最大 5mm まで粗く出来ます。
 - ⊖ ボタン：縫い目の長さを細かく出来ます。
- * 縫い模様によって異なります。

4 針振り幅ボタン（広い⇄狭い）

- ⊕ ボタン：縫い目の幅を広く出来ます。
 - ⊖ ボタン：縫い目の幅を狭く出来ます。
- * 縫い模様によって異なります。

操作パネル



5 記憶ボタン

記憶ボタンを押すとボタンが点灯し、『MEMORY』と表示され模様や文字を記憶出来る状態になります。点灯している間は記憶した模様を繰り返し縫うことが出来ます。もう一度押すと消灯し、記憶されていた模様や文字はキャンセルされます。

6 保存ボタン

記憶ボタンが点灯している状態で、保存ボタンを押すと現在選択している模様・文字が1つ記憶されます。

* 記憶された模様や文字の数が、液晶画面の左側<A>に表示されます。

7 シフトボタン

表示される模様の番号をグループごとにジャンプ（移動）出来ます。

8 止め縫いボタン

同じところで針が4回上下し、縫い始めと縫い終わりのほつれ止めになります。

9 反転ボタン

縫い模様を左右逆向きに縫うことが出来ます。（液晶画面は上下逆向きになります。）

10 針位置切替ボタン

針位置切替ボタンが点灯中は針下停止になり、針位置切替ボタンが消灯中は針上停止になります。

11 リピートボタン

リピートボタンが点灯中は模様や文字を自動的に繰り返し縫えます。

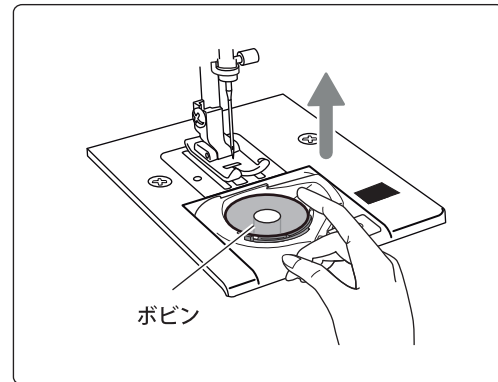
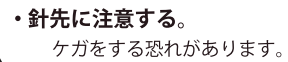
* 記憶ボタンと併用して縫うことも出来ます。

12 ダイレクト選択ボタン

ボタンに表示された模様番号に移動します。

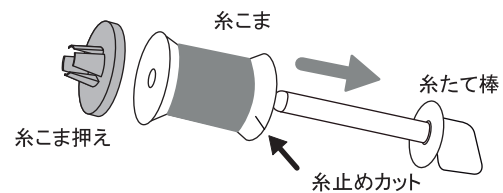
* 模様・文字の選びかたは P29.P30 をご参照ください。

ボビンの取り出ししかた

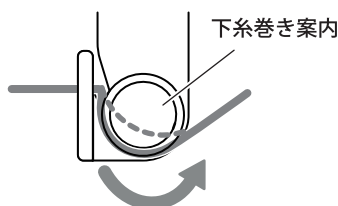


- 2** ボビンを取り出します。

下糸の巻きかた

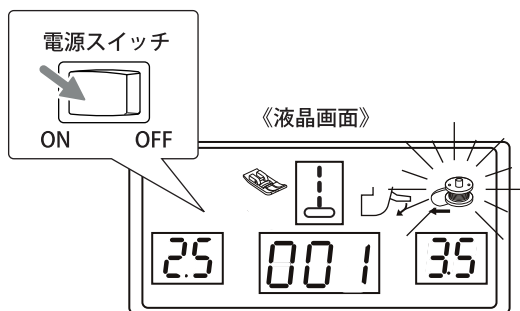


- 1** 『糸たて棒』を少し上へ傾け、『糸こま』の『糸止めカット』を『糸たて棒』の根元側に向け奥まで差し込みます。『糸こま』が飛び出してこないように『糸こま押え』でしっかり押えます。
- *『糸こま押え』は、『糸こま』の大きさに合った方をご使用ください。

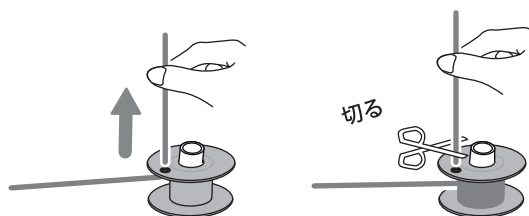


-
- 下糸巻き軸
- 下糸巻き軸
ストッパー
- 差す
- 右へ

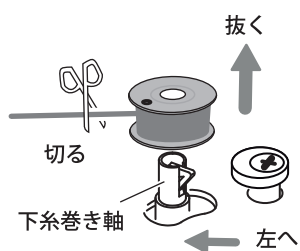
- 4** ボビンの穴に内側から糸を通し、下糸巻き軸にボビンを差し下糸巻き軸を右に移動させます。



- 5** 電源コードプラグをコンセント（家庭用電源）に差し、電源スイッチを『ON』にします。



- 6** 糸先を持ち、スタート/ストップボタンを押しボビンに5.6回転糸を巻き付けます。
ミシンを一度止め、持っていた糸をボビンの穴のきわで糸を切ります。



- 7** 再度ミシンを動かし、糸が巻き終わったらスタート/ストップボタンを押しミシンを止めます。
下糸巻き軸を左に戻し、ボビン抜きます。

* 下糸巻き軸が右にあると、針が上下しません。

下糸のセット



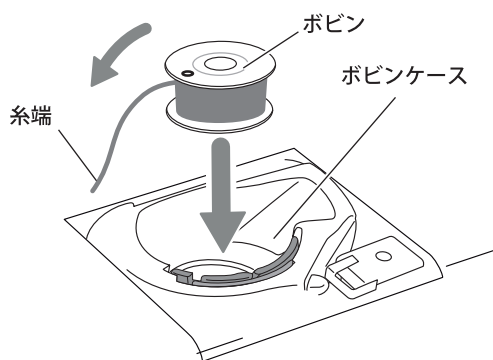
注意



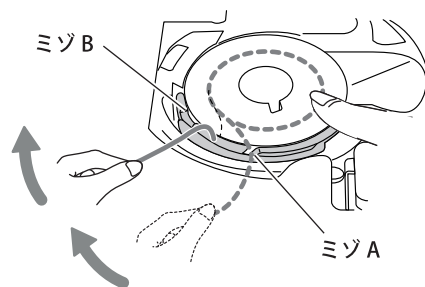
・電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。



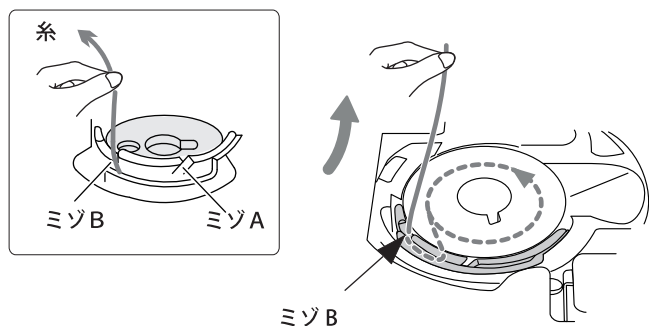
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



- 1** ボビンから10cmほど糸を引き出し、ボビンの左側から糸が出るようにボビンをボビンケースに入れます。



- 2** 引き出したボビンの糸をミゾAにかけ、ミゾBまで左側へ引き出します。



- 3** 糸をミゾBにかけ、糸先を向こう側に10cmほど引き出します。



- 4** ボビンカバーの左部分を差し込み、閉じます。

上糸の掛けかた

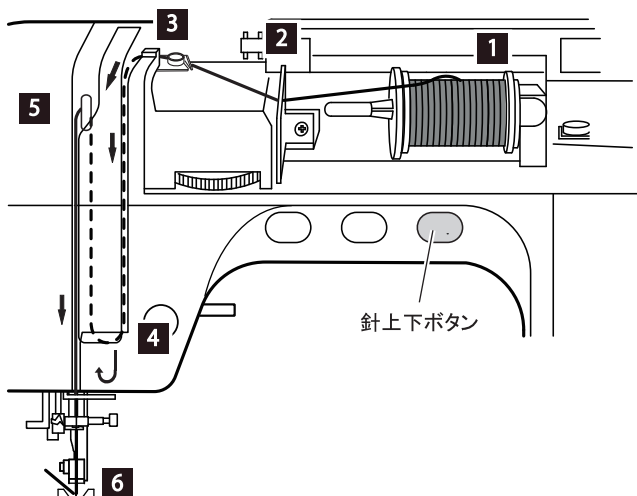


注意



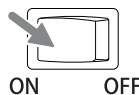
準備

以外は、電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。



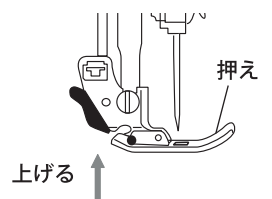
準備

電源スイッチ



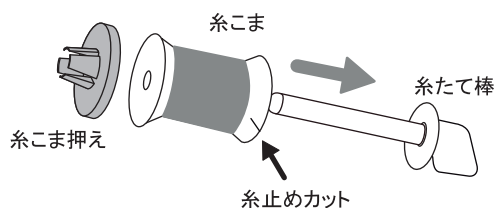
針上下

電源スイッチを『ON』にし、
針上下ボタンで針を上げます。
すぐに、電源スイッチを
『OFF』にします。

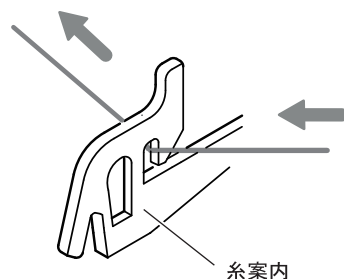


押えを上げます！！

＊ 押えを下げた状態で
上糸を通すと、糸の調子が
取れません。



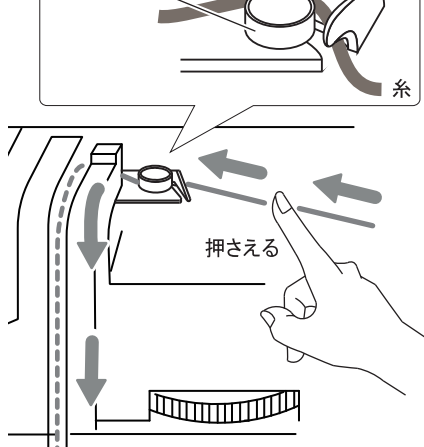
1 糸たて棒に糸こまと糸こま押えをセットします。
(P12 参照)



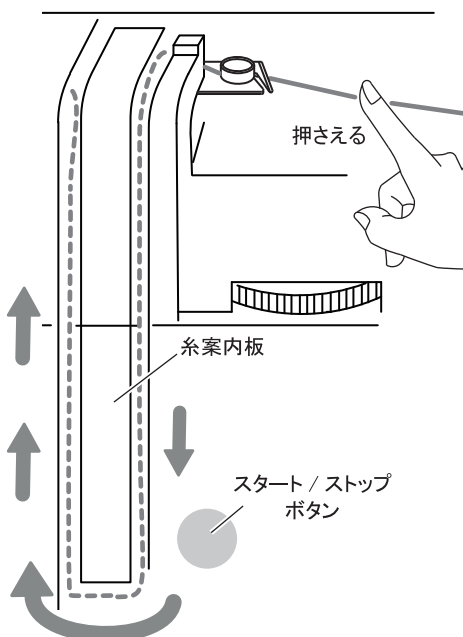
2 糸案内に糸を掛けます。

丸い金具(皿)の間にしっかり
奥まで糸を掛けます。

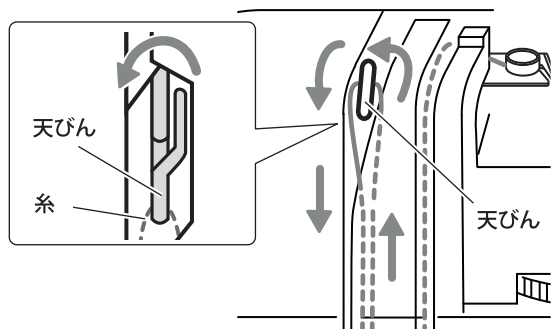
上糸掛け



3 糸を手で軽く押さえて、糸を張り
上糸掛けに掛けます。

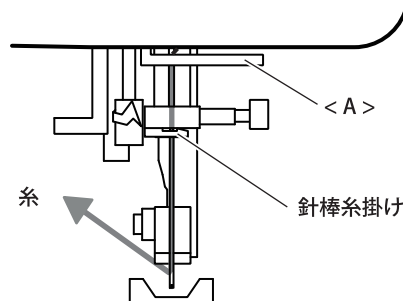


4 糸を押さえた状態のまま、糸案内板に沿って
糸を下まで降ろし、左上へ引き上げます。



5 天びんの穴へ右から左へ通し、糸案内板に沿って糸を下ろします。

* 天びんが見えにくい際は、はずみ車をゆっくり手前に回してください。



6 <A> と針棒糸掛けに糸を通します。

針穴糸通し器



注意



準備

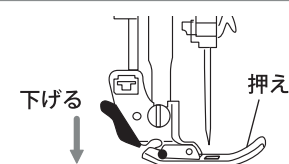
以外は、電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとかげをする恐れがあります。

注意：針穴糸通し器が破損します。



- 曲がった針は使用しない。
- 針の太さ #14 ~ #16 で使用する。
- 糸の太さは #40 より細い糸を使用する。

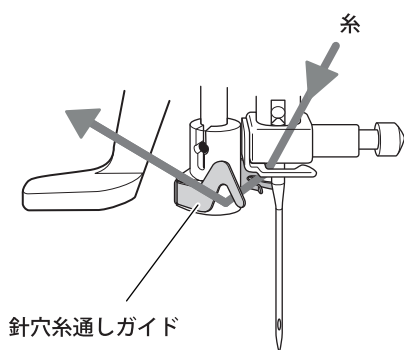
準備：針穴糸通し器が破損します。



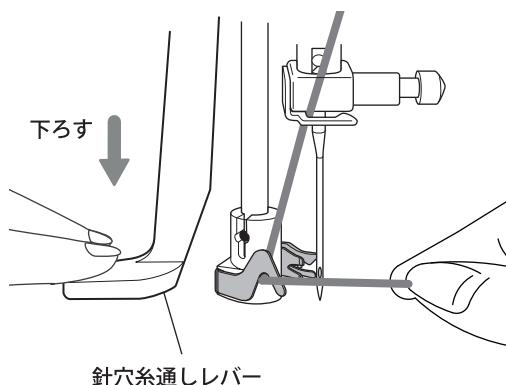
押えを下げます。



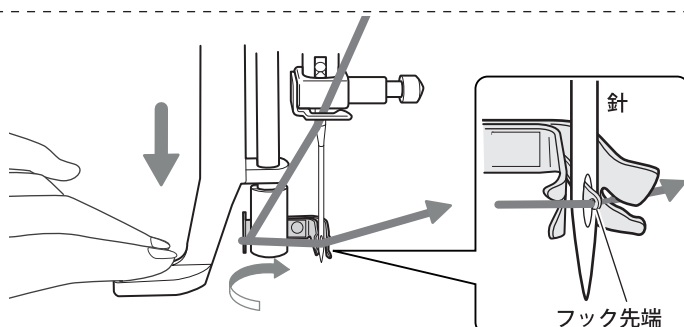
電源スイッチを『ON』にし、
針上下ボタンで針を上げます。
すぐに、電源スイッチを
『OFF』にします。



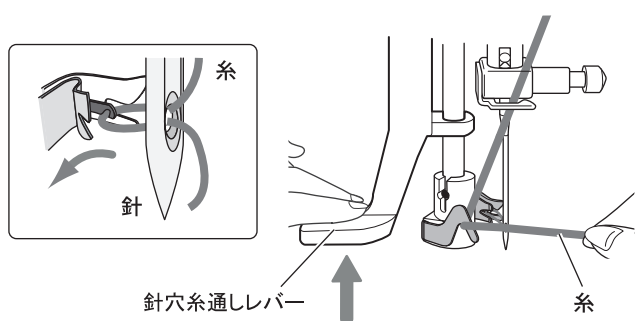
1 糸先を持ち針穴糸通しガイドに右下側から糸を掛けます。



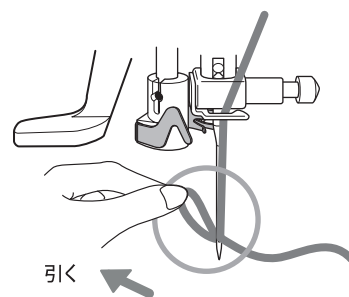
2 糸先を右手で持ったまま、左手で針穴糸通しレバーをゆっくり一番下まで下ろします。
(針穴レバーが下がると、糸通しフックが回転し針穴へフック先端が通ります。)



3 ガイドに掛けた糸をそのまま右側奥に引っ張りフック先端に糸が掛かるようにします。



- 4** 糸先を軽く持ちながら、針穴糸通しレバーをゆっくりはなします。



- 5** 針の後方に糸の輪が出来るので針の後ろへ10cmほど引き抜きます。

下糸の引き上げかた



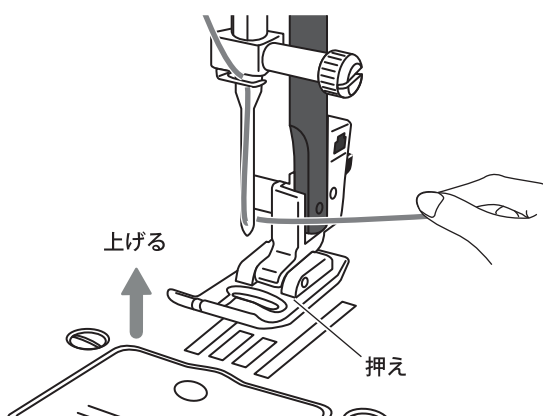
注意



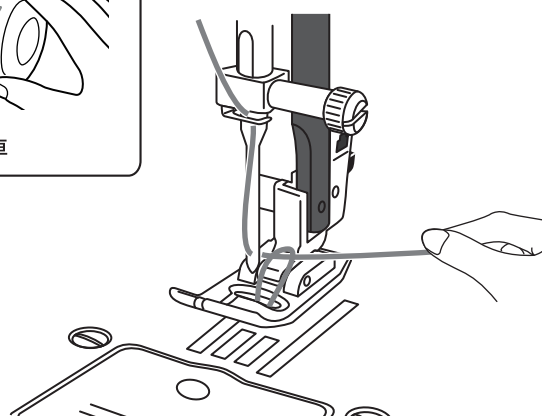
・電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。



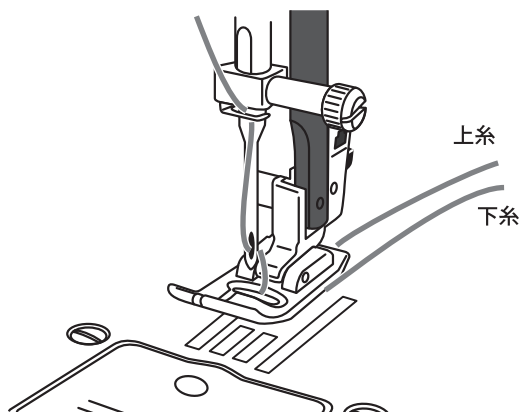
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



- 1** 押えを上げ、上糸の端を持ちます。



- 2** はずみ車を手前に1回転させ針を上げると、下糸の輪が引き出されます。下糸の輪をつまみ、下糸を引き上げます。



- 3** 上糸と下糸をそろえ、押えの下へ10cmほど引き出します。

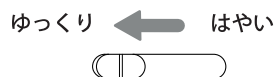
直線縫い

準備

- ・下糸巻き軸を左側にします。
(軸が右にあると針が動きません)



- ・スピード調節ツマミを
<ゆっくり>にします。



- ・電源を入れ、縫い模様を
選択します。

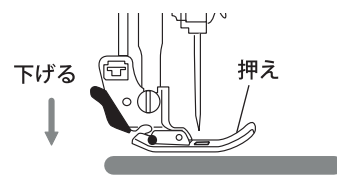
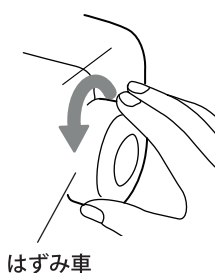
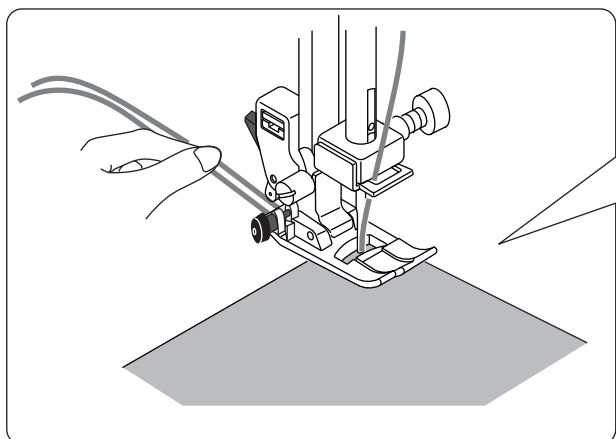


注意



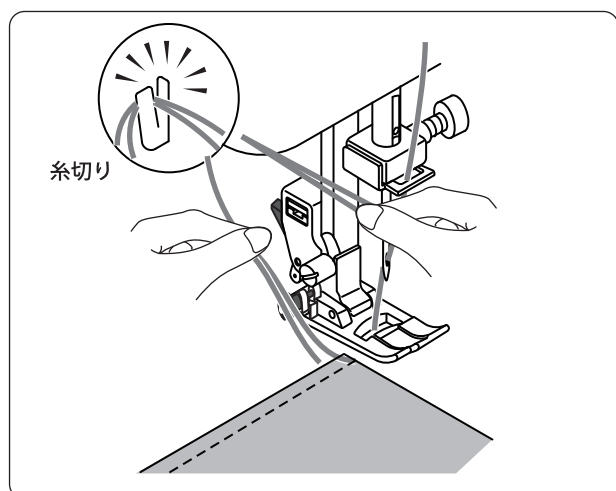
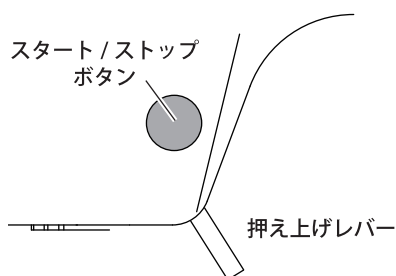
- ・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

押え	模様表示	
	001	002
	中基線	左基線



- 1 生地を押えの下に置き、はずみ車を手前に回して縫い始める位置に針を刺します。
- 2 押えを下げます。
- 3 スタート/ストップボタンを押し、縫い始めます。
- 4 生地を手を軽くそえ、生地が進む方向を修正・補助します。
- 5 スタート/ストップボタンを押し、ミシンを止めます。
- 6 押え上げレバーを上げ、生地を引き出します。
その後ミシン本体左にある糸切りで糸を切ります。

<ミシン正面図>

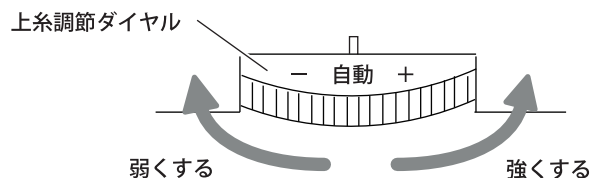
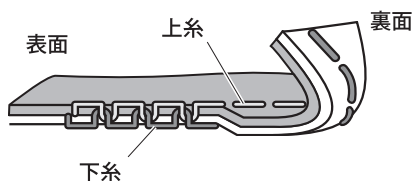


- * 薄地や送りの悪い生地を縫う際は、ハトロン紙などの紙を生地の下に敷くとスムーズに縫うことができます。
- * 縫い始めと縫い終わりに返し縫いボタン、または止め縫いボタンを押すと、ほつれ止めになります。

糸調子の合わせかた

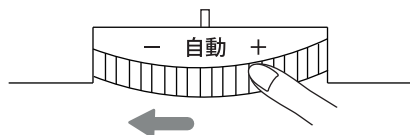
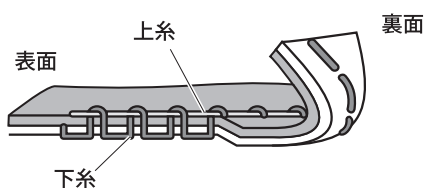
糸調子が合わない場合は、上糸調節ダイヤルを回し調節してください。

● 正しい糸調子



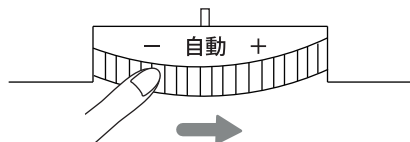
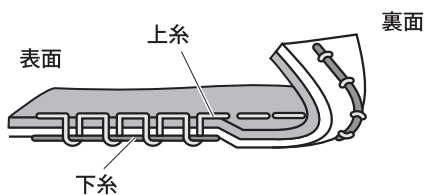
上糸と下糸が生地のほぼ中央で交わります。

● 上糸が強いとき



下糸が生地の表に出ます。
上糸調節ダイヤルを『-』の方向へ回します。

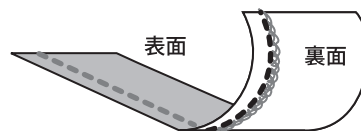
● 上糸が弱いとき



上糸が生地の裏に出ます。
上糸調節ダイヤルを『+』の方向へ回します。

● 生地裏側の糸がタオル地のようにときは…

- 上糸調子が弱い。
- 『押え上げレバー』が上がっている。
- 『天びん』から上糸が外れている。
- 上糸の掛けかたが間違っている。
- 糸が太すぎる。(太さ #40 までの仕様です。)

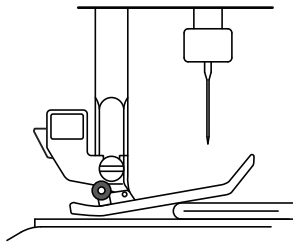
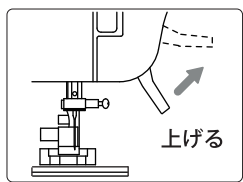


ポイント！

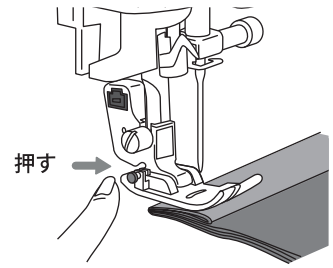
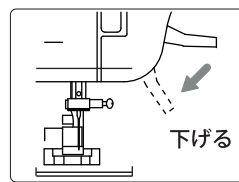
『押え』を上げ上糸を全て外し、上糸を再度正しく掛け直してください。(P8 参照)

厚地を縫う

縫い始めや段差を縫う際

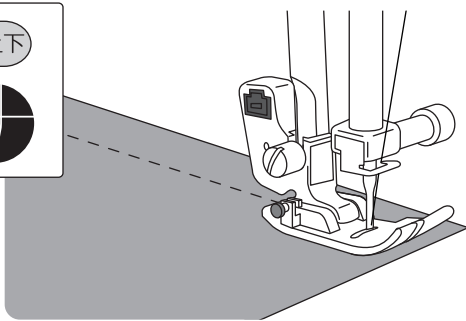
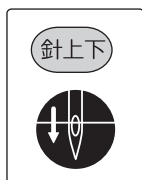


- 1 押え上げレバーを上げます。
押えの下に生地を置き、針を一番下まで下げます。

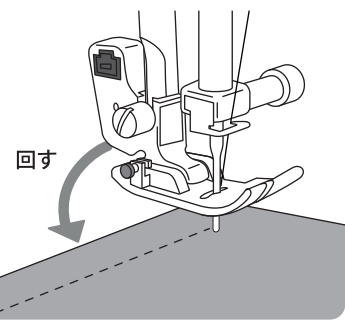


- 2 押えの先端を指でつまみ水平にします。
押えの左横にあるボタンを押しながら
押え上げレバーを下ろします。

縫い方向を変える

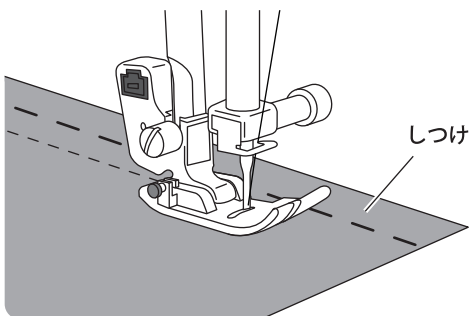


- 1 生地 corner まで縫い、ミシンを停止し
針上下ボタンで針を下げます。



- 2 押えを上げ、針を軸にして生地を回させ
縫い方向を変えます。
再び、押えを下げ縫い始めます。

伸縮生地を縫う



押え	模様表示		
 ジグザグ押え	004	005	014
	 	/// /// ///	///

- 1 模様選択ボタンで模様を選択します。
- 2 あらかじめ縫い合わせる生地がずれないように
しつけをし、生地を引っ張らないように縫います。

* 縫い目が飛ぶ際は、市販の家庭用ニット用針とニット用糸をご使用ください。



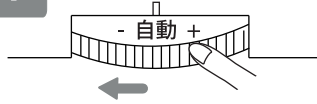
注意



・針先に注意する。ケガをする恐れがあります。

縁かがり押えを使用するときは、縫い目の幅を『4』以上にします。
(部品の破損にもつながります。)

ポイント



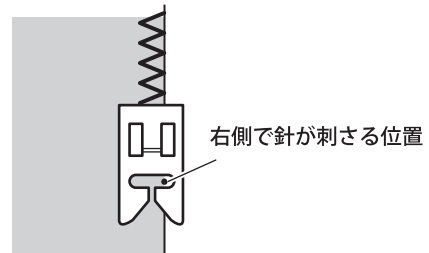
直線縫いよりも上糸調整ダイヤルを
やや弱めにするときれいに縫えます。

押え	模様表示
	012 025
ジグザグ押え	

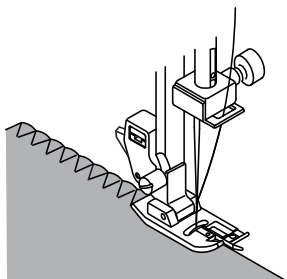
押え	模様表示
	006 015
縁かがり押え	

縫いかた

はずみ車を手前に回して針が右に来た際に、
生地端より針が少し外れるように生地を置き、
押え上げレバーを下げます。

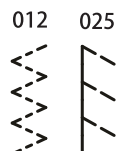


	模様	縫い目の長さ	縫い目の幅	押え
薄地	012 	1 ~ 2	3 ~ 5	 ジグザグ
普通地	025 	3 ~ 5	4 ~ 6	 ジグザグ
	006 	1 ~ 4	4 ~ 5	 縁かがり
厚地	015 	3 ~ 5	4 ~ 6	 縁かがり



縁かがり押えのガイド金具に
生地端を当てながら縫います。

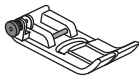
注意

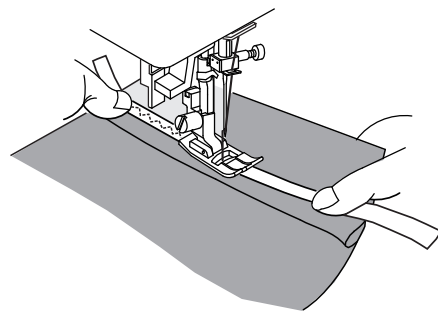
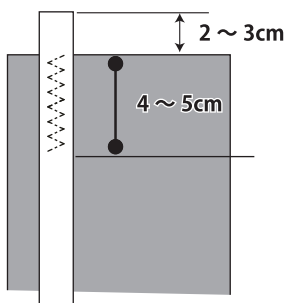


これらの模様は縁かがり押えは
使用出来ません。
ジグザグ押えをご使用ください。

ゴムテープ付け

袖口などのゴム付けをきれいに縫えます。

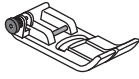
押え	模様表示
	012 
ジグザグ押え	

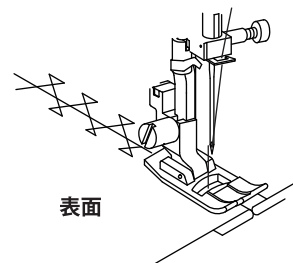
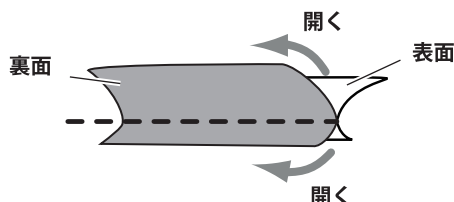
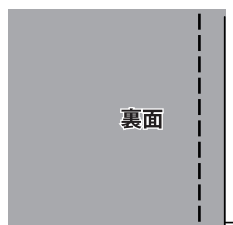
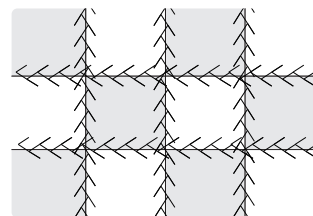


- 1 ゴムテープは用途の長さより4~6cm 長めに切ります。
- 2 生地に対しゴムテープを2~3cm はみ出し、4~5cm 縫いミシンを止めます。
(この間、ゴムは伸ばさないでください。)
- 3 縫い終わり側のゴムテープ端を伸ばして、生地と一緒に押えながら縫います。

パッチワーク

色々な生地をつなぎ合わせ、装飾に用います。

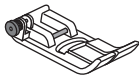
押え	模様表示
	020 024 036 
ジグザグ押え	

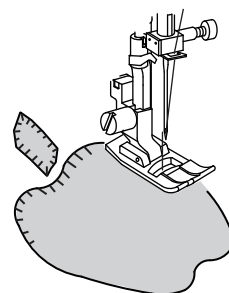
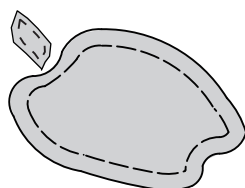


- 1 2枚の生地を中表にし、直線縫いで縫い合わせます。
- 2 縫い合わせを開きます。
- 3 両方の生地に模様がまたがるように縫います。

アップリケ

市販や自作のアップリケ布を別生地の上に縫い付けます。

押え	模様表示
	026 
ジグザグ押え	

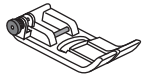


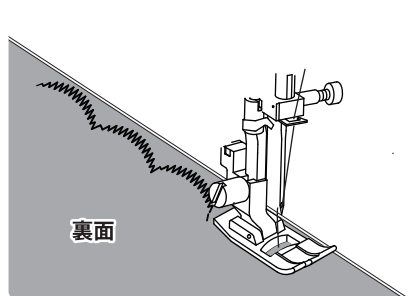
- 1 アップリケ布を生地にしつけるか、布用ボンドで仮止めします。
- 2 アップリケ布の回りをジグザグ縫いで縫い付けます。

* 縫い方向を変える際は、アップリケ布の外側に針を刺し、押えを上げ生地全体を回します。

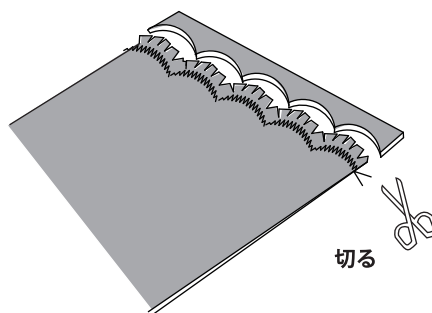
スカラップ

子供服やテーブルクロスなどの生地端を装飾する際に用います。

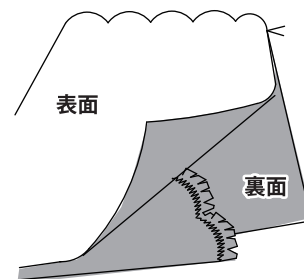
押え	模様表示
 ジグザグ押え	039 



- 1** 2枚の生地を中表に合わせ、生地端に沿って縫い合わせます。



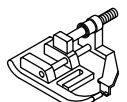
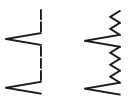
- 2** 縫い目から3mmのところではしで輪郭に沿って生地端を切ります。
* 切り落とした後の縫いしろに、細かく切り込みを入れておきます。

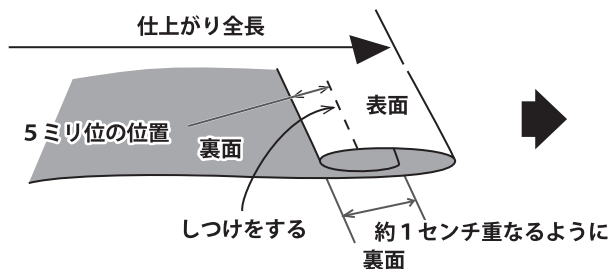


- 3** 生地を内側へ返し輪郭を整えます。

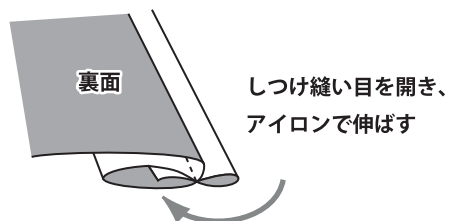
まつり縫い（ブラインドステッチ）

スカートやズボンの裾上げをする際に用います。生地表面に目立たない縫い目です。縫い模様『018』は伸縮する生地に使用します。

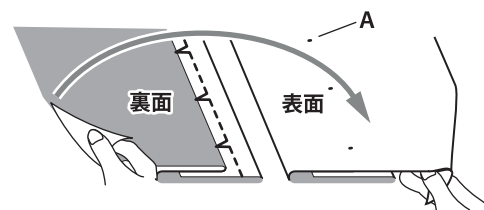
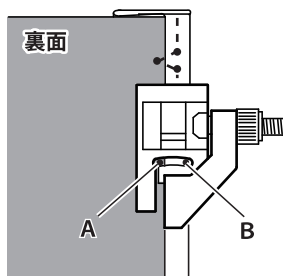
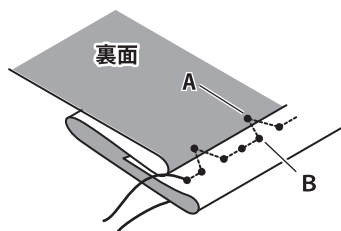
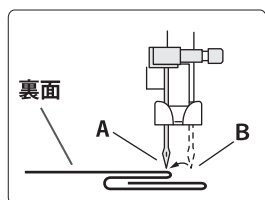
押え	模様表示
 まつり押え	017 018 



- 1** 生地を図のように折り、しつけをします。



しつけ縫い目を開き、アイロンで伸ばす



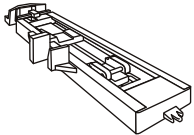
- 2** はずみ車を手前に回し針を左側でゆっくり下げ、生地折り山(A)にわずかに針がかかるよう、生地位置を合わせて縫います。
(針がかかる量が少なければ、表面に目立ちにくくなります。また、生地折り山に針が掛からないと仕上がりが目飛びをします。)

- 3** 生地を返し、しつけ糸を抜きます。

ボタンホール縫い

ボタンの大きさにあったボタンホールを縫う事が出来ます。

ボタンホールの形はボタンの大きさや形によって 5 種類のボタンホール縫いから選べます。

押え	模様表示				
	007	008	009	010	011
ボタンホール押え					
	* 縫い目長さを 0.3 ~ 1.0 mm で調整出来ます。				

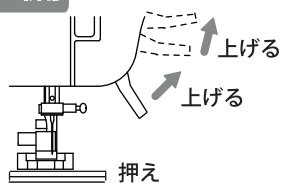
注意

縫い損じを防ぐため、製品に縫う前に必ず別生地でボタンホールを作り、ボタンが通るかご確認ください。

ポイント

伸縮性の生地や薄い生地は不織布（芯地）を裏に貼るとよりきれいに仕上がります。

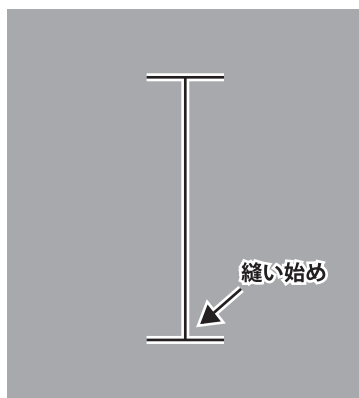
準備



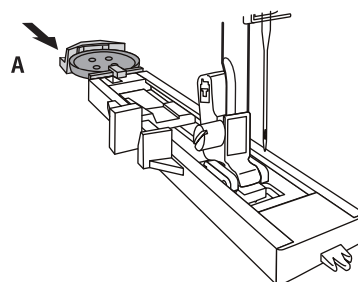
押え上げレバーを上げ
押えを交換します。
(押え上げレバーは 2 段目まで
上げてください。P7 参照)



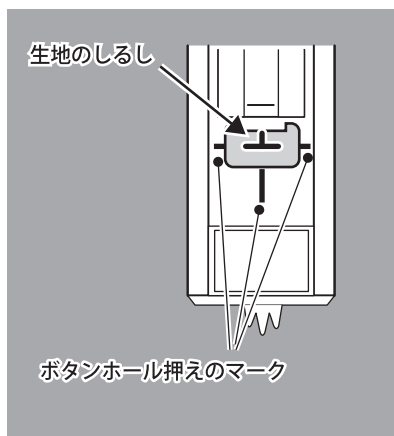
電源スイッチを『ON』にし、
針上下ボタンで針を上げます。
すぐに、電源スイッチを
『OFF』にします。



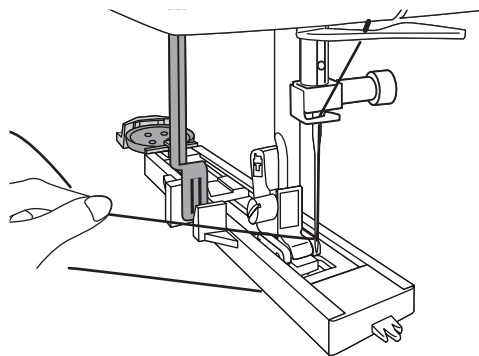
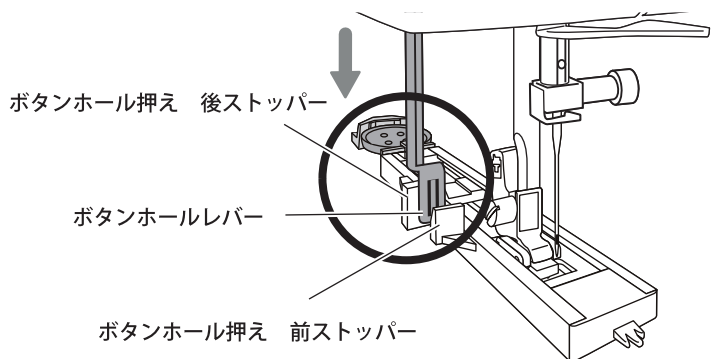
- 1 ボタンホールを作る生地に印を付けます。
* ボタンの大きさに印を付けておくと、縫う方向を間違えません。



- 2 ボタンをボタンホール押えの台にセットします。
* ボタンホール押えの台は A の部分のみ前後に動かせます。
* ボタンに厚みがある際は、ボタンの厚み分を広げてください。

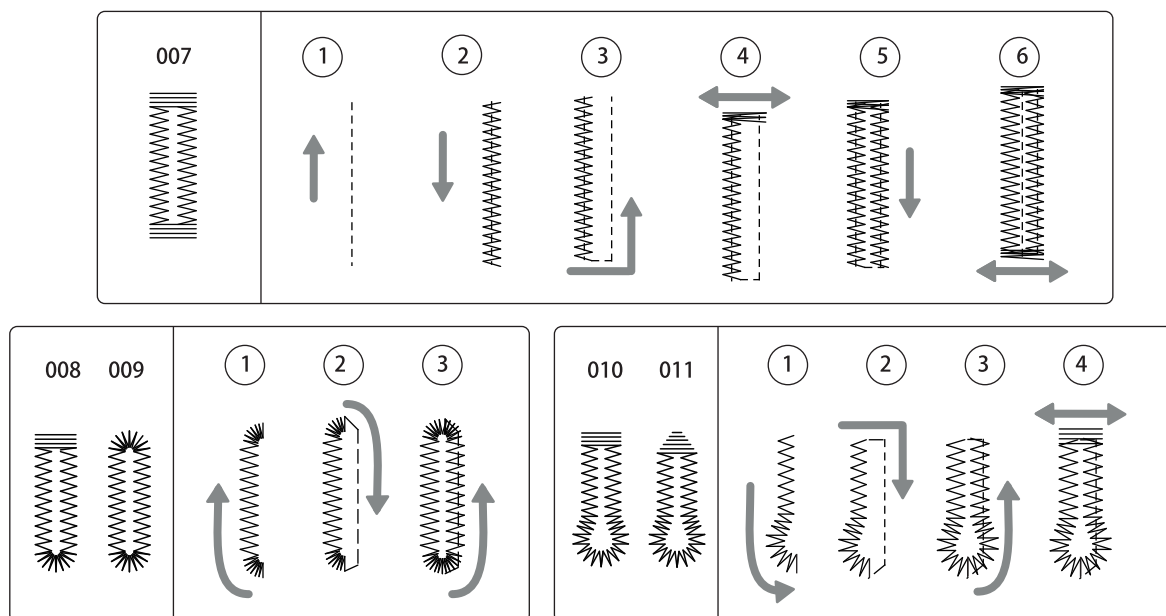


- 3 生地につけたボタンホールのしるしが押えの窓より見えるようにして、生地を置きます。
ボタンホール押えのマークに合わせ、押え上げレバーでボタンホール押えを下げます。
* しるしが斜めになっていると、ボタンホールが斜めになりますのでご注意ください。

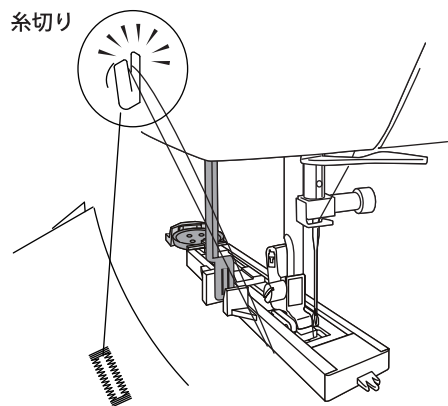


- 4** ボタンホールレバーを下までいっぱいに下げます。
 ＊ ボタンホールレバーはボタンホール押えの前後のストッパーの間に設置します。
 設置位置が間違っていると、ミシンが動きません。

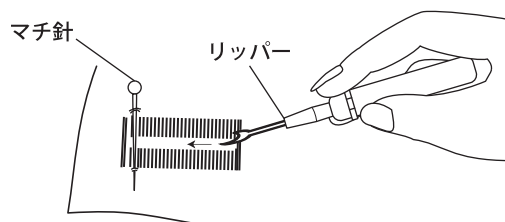
- 5** 上糸を軽く持ち、縫い始めます。
 針が5回ほど上下したところで一度ミシンを止め、
 持っている上糸を切ります。
 (このときボタンホールレバーには触れないでください。)
 再度、縫い始めます。



- 6** ボタンホールはスタート/ストップボタンを押すと、図のような順序で縫っていきます。
 ボタンホールが完成するとミシンは自動で停止します。

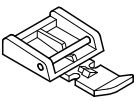


- 7** 針が完全に停止したのを確認し、
 押え上げレバーでボタンホール押えを上げ
 糸切りで糸を切ります。



- 8** ボタンホールの穴に付属のリッパーを刺し、
 押しながらボタン穴を開きます。
 ＊ マチ針をかんぬき部分に刺しておくと、
 切り開き過ぎを防げます。

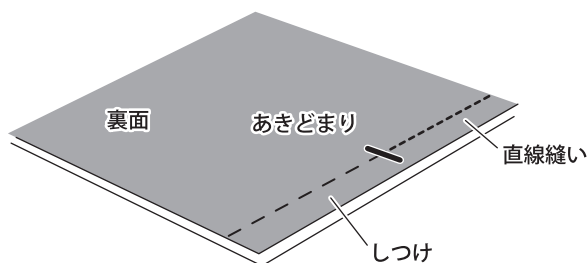
ファスナー付け < 突き合わせ >

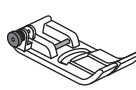
押え	模様表示
	001 中基線
ファスナー付け押え	

注意

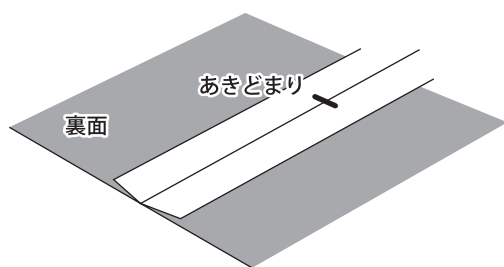


- ・ファスナー付け押えを使用する際は、中基線の直線縫い模様 < 001 > 以外は使用出来ません。（中基線の直線縫い以外を使用すると、針が折れ危険です。）
- ・ミシンを電動で動かす前に、はずみ車を手前にゆっくり回し、針が押えに当たらないことを確認してください。
- ・押え交換時は電源スイッチを『OFF』にしてください。

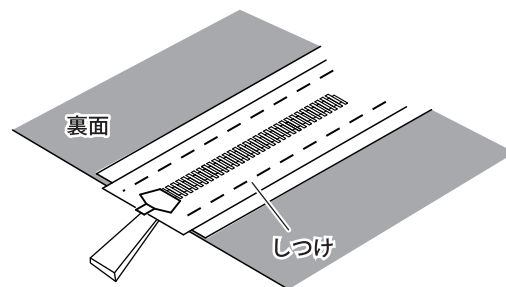


押え	模様表示
	001 中基線
ジグザグ押え	

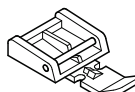
- 縫い模様を中基線の直線縫い模様 < 001 > にします。
中表に2枚の生地を合わせ、ファスナーのあき止まりまで直線縫いをします。
ファスナーを取り付ける部分はしつけをしておきます。



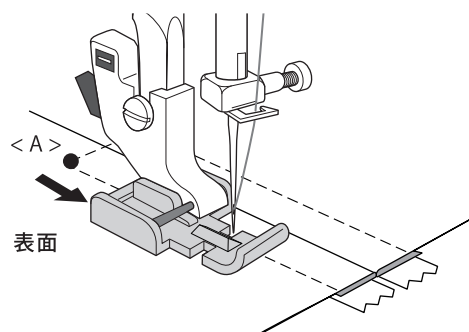
- 縫い合わせを開きアイロンをかけます。



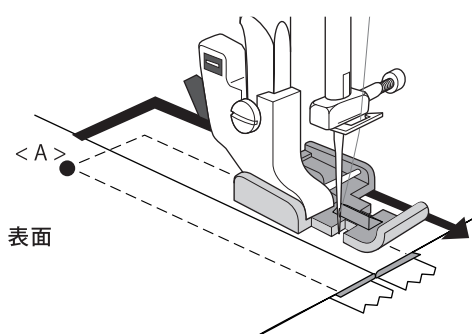
- 縫い合わせを開き、アイロンをかけます。
ファスナーをあき止まり部分にしつけをします。

押え	模様表示
	001 中基線
ファスナー付け押え	

- ファスナー押えに交換します。（P7 参照）
* ファスナーの左側を縫う際は、
ファスナー付け押えの右部分を使用します。
* 縫い目の長さを 1.0 ～ 2.0 にします。



- ファスナー左を < A > から矢印の方向へ縫います。
生地につき合わせから 7 ～ 10mm 離し縫います。



- ファスナー付け押えを左側に付け替え、
ファスナー右を < A > から矢印の方向へ縫います。
しつけ糸を抜きます。

ファスナー付け＜脇あき＞

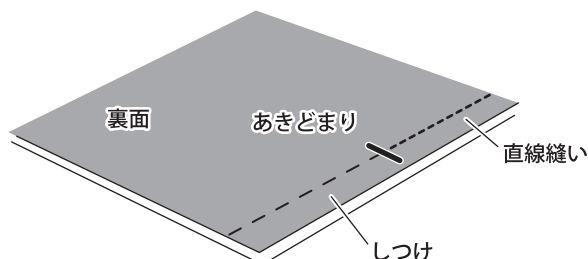
注意



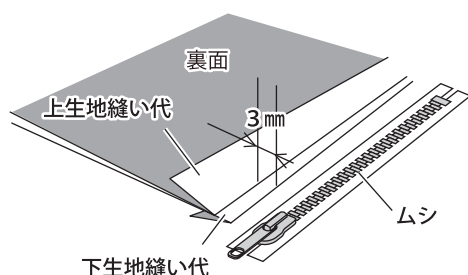
- ・ファスナー付け押えを使用する際は、中基線の直線縫い模様＜001＞以外は使用出来ません。（中基線の直線縫い以外を使用すると、針が折れ危険です。）
- ・ミシンを電動で動かす前に、はずみ車を手前にゆっくり回し、針が押えに当たらないことを確認してください。
- ・押え交換時は電源スイッチを『OFF』にしてください。

押え	模様表示
	001 中基線

押え	模様表示
	001 中基線



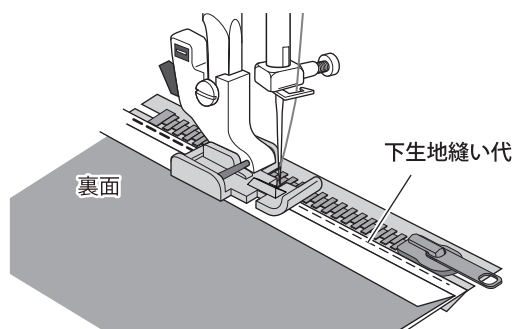
- 縫い模様を中基線の直線縫い模様＜001＞にします。
中表に2枚の生地を合わせ、ファスナーのあき止まりまで直線縫いをします。
ファスナーを取り付ける部分はしつけをしておきます。



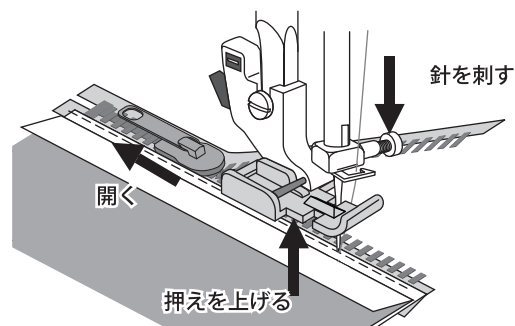
- 上生地を縫い代まで割り、下生地は縫い代を3mm残して折ります。
折り山の下にファスナーのムシを合わせ、しつけをします。
(スライダーを手前に倒しておきます。)

押え	模様表示
	001 中基線

- ファスナー付け押えに交換します。(P7参照)
* ファスナーの左側を縫う際は、ファスナー付け押えの右部分を使用します。
* 縫い目の長さを1.0～2.0にします。



- ファスナー付け押えに交換し、ファスナー左部分をあき止まりから下生地縫い代に縫い付けます。



- ファスナーのスライダー部分まで針がきたら、ミシンを一度止め針を生地に刺します。
ファスナー付け押えを上げ、スライダーを下げムシを開き残りを縫います。

● ボビンケースの取り付けかた



注意



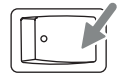
・電源スイッチを『OFF』にし電源コードプラグをコンセントから抜く。
突然動くとかガをする恐れがあります。



・針先に注意する。ケガをする恐れがあります。

準備

電源スイッチ

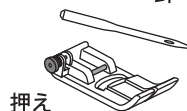


ON OFF



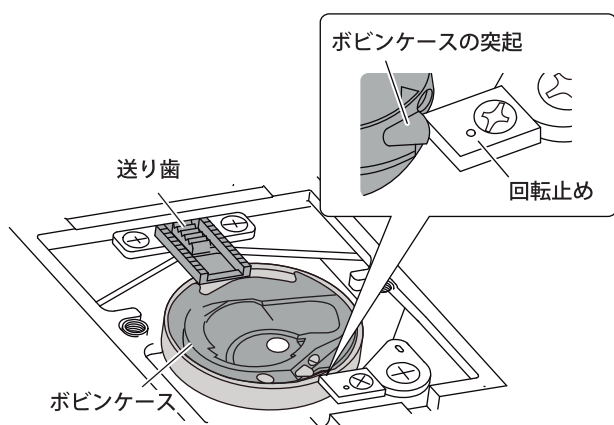
電源スイッチを『OFF』にし、
電源コードプラグをコンセント
から抜きます。

針

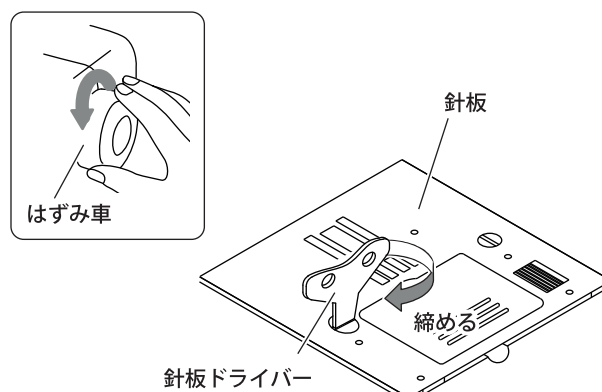


押え

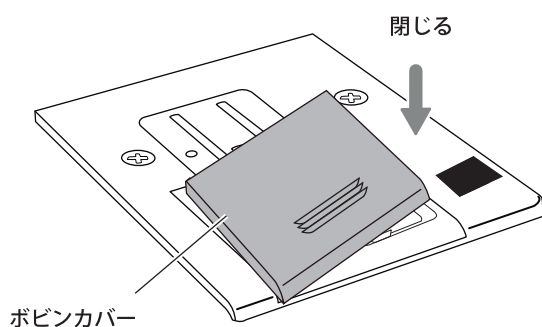
針と押えを外します。



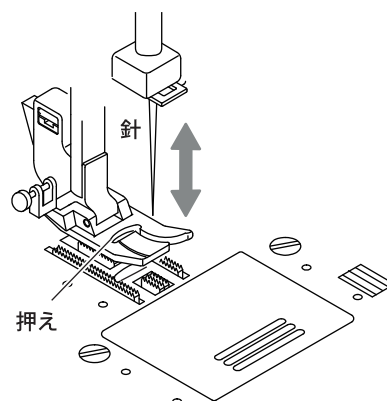
- 1 ボビンカバーの突起部が釜の回転止め位置に合うようにセットします。
* 釜にボビンケースを乗せた際に水平になるようにします。



- 2 はずみ車を回し、スムーズに回るか確認後針板止めネジを針板ドライバーで締め針板を取り付けます。



- 3 ボビンカバーを閉じます。



- 4 針と押えを取付け、はずみ車を再度手前に回し針が針穴に正しく刺さることを確認します。

針、糸、生地の関係

きれいに縫うためには、生地に合った針と糸をご使用ください。(下記参照)

上糸と下糸は同じ種類・同じ太さの糸をご使用ください。

針は家庭用ミシン針 (HA×1)、糸は家庭用ミシン糸とご指定の上お買い求めください。

(工場出荷時、ミシンには 14 番の針が装備されています。)

* 下記の表はあくまで参考ですので、必ず試し縫いを行い縫い目をご確認ください。

	生地の種類	針の種類・番号	糸の種類・番号
普通地	一般服地、ブロード、ソフトデニム、サテン、パイル、ギンガム など	11,14 番	綿 60～80 絹 50～80 化繊糸 60～80
薄地	一般裏地、ローン、ジョーゼット、レース、キュプラ など	9,11 番	綿 60～100 絹 50～80 化繊糸 60～80
厚地	キルティング、フリース、ツイード、デニム、フェルト など	14,16 番	綿 40～50 絹 50 化繊糸 50～60
伸縮地	ニット、トリコット、スパンテックス、ジャージ など	ニット用針 11、14 番	綿 60 化繊糸 50～80 ニット用糸 50～80

* 針は数字が大きくなるほど太くなります。

* 糸は数字が大きくなるほど細くなります。

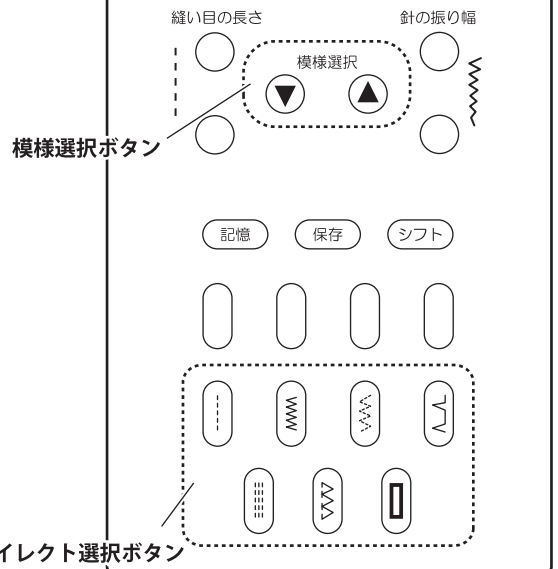
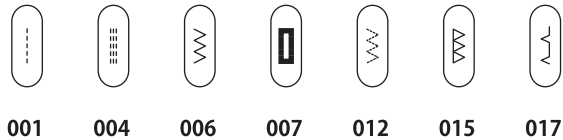
(針の交換方法は P31 をご参照ください。)

1. 模様（連続模様）を縫う

模様（連続模様）を選択した場合はミシンをスタートさせると同じ模様を繰り返し縫い続けます。

1-1：ダイレクト選択ボタンで模様を選択する

基本的な縫い模様として操作パネルの最下部に 7 つのダイレクト選択ボタンを押すことで、直接縫い模様を選択できます。表示される模様は、トップカバー内の表示番号内に相当します。



1-2：ダイレクト選択ボタン以外で模様を選択する

液晶画面の模様表示番号を操作パネルの模様選択ボタン (▲) (▼) で模様番号を選びます。

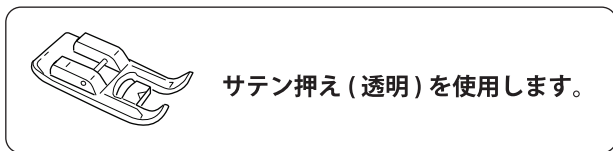
液晶画面に表示される模様は、トップカバー内の表示番号に相当します。

1-3：色々な模様を混ぜて縫う（記憶模様縫い）

模様（連続模様）を組み合わせて縫います。

2. 文字を縫う

文字を選択した場合、ミシンをスタートさせると液晶画面に表示されている文字を 1 文字だけ縫い止まります。



2-1：文字を選択する（一文字縫い）

液晶画面の模様表示番号を操作パネルの模様選択ボタン (▲) (▼) で模様番号を選びます。

* シフトボタンを押すと 001→011→021...151→001 と模様番号がジャンプします。

2-2：複数の文字を選択する（記憶文字縫い）

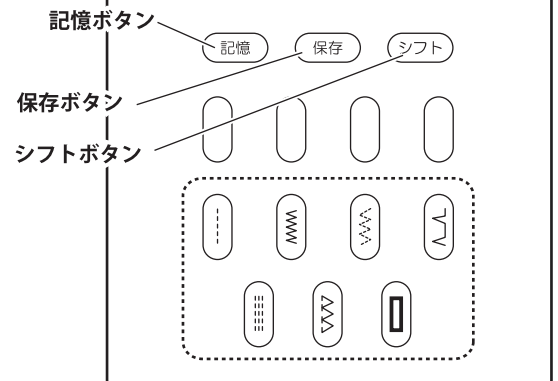
- 記憶ボタン (記憶) を一度押します。ライトが点灯し記憶できる状態になります。
(液晶画面に < MEMORRY > が点灯されます。)
 - 記憶したい文字番号を表示させます。
 - 保存ボタン (保存) を押します。(1 文字保存完了)
 - 2 文字目の記憶したい文字番号を表示させます。
 - 保存ボタン (保存) を押します。(1 文字保存完了)
- 以降、文字番号と保存ボタンを繰り返します。

例えば…『りんご』の場合

記憶ボタン→り (080)→保存ボタン→ん (086)→保存ボタン→ご (091)→保存ボタン→スタート / ストップボタンで縫い始めます。

(刺しゅうが終わると、ミシンは自動で止まります。一旦途中で止めると、途中止めた時点からの刺しゅうになります。)

* 40 個まで記憶出来ます。



模様・文字の選び方 <2>

2-3：複数の文字を選択する（記憶文字縫い）の確認と消去

文字の記憶入力が終わったら、縫う前に確認します。

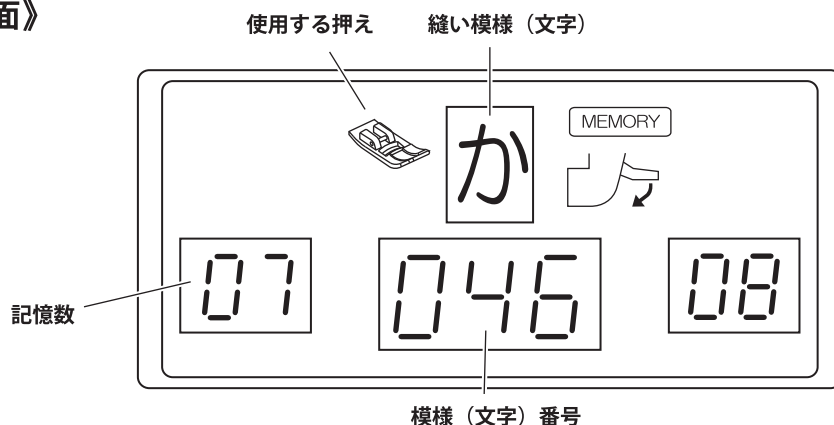
入力済の文字があると、左下の数字が大きくなり記憶されている文字数を示します。

- 針の振り幅の $\ominus$ ボタンを1度押すごとに1文字前の記憶文字に戻ります。
- 針の振り幅の $\oplus$ ボタンを1度押すごとに記憶文字が進みます。
- 記憶されている文字が間違っている際は、縫い目の長さ $\ominus$ ボタンを一度押してください。
液晶画面に表示されている1文字だけが消去されます。

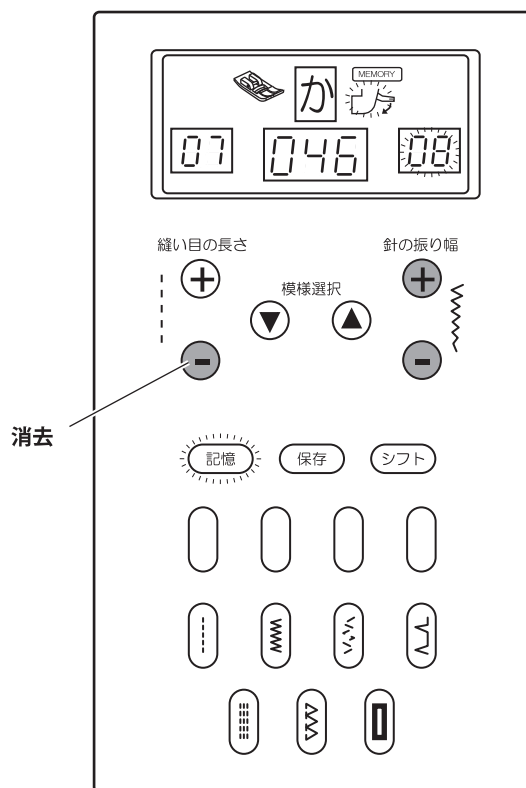
注意：操作パネルの記憶ボタンは記憶操作中に押さないでください。記憶した文字が全て消去されます。

また、電源スイッチを『OFF』にすると、記憶されている文字は全て消去されます。

《液晶画面》



《操作パネル》



2-4：記憶文字の一括消去

記憶されていた文字全てを消去する際は、点灯している記憶ボタンを押します。

* 記憶操作中に記憶ボタンを押すと、一括消去されてしまいますのでご注意ください。

針の取り替え方



注意



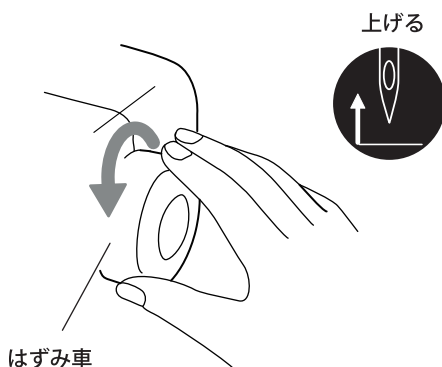
・電源スイッチを『OFF』にし電源コードプラグをコンセントから抜く。
突然動くとケガをする恐れがあります。



・針先に注意する。 ケガをする恐れがあります。

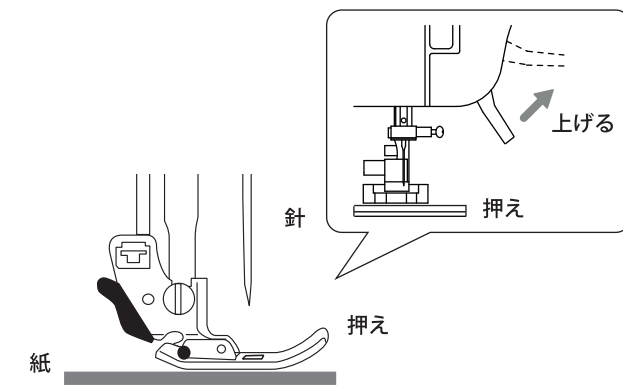


・針は平らな面を後ろ向きに付ける。
針が折れ、ケガをする恐れがあります。また、縫い目が出来ず縫えません。

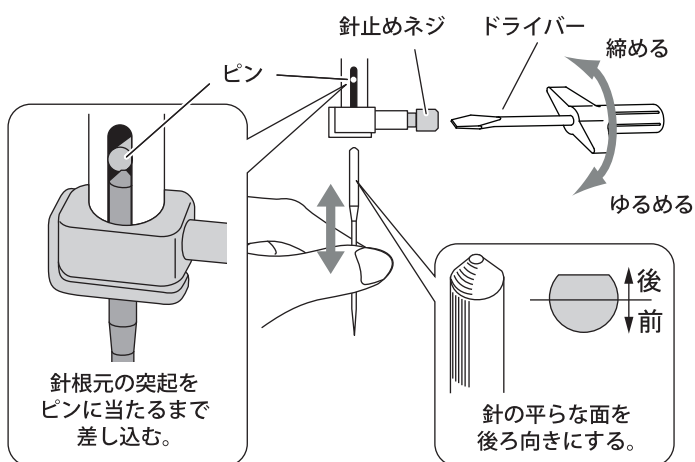


はずみ車

1 はずみ車を手前に回し、針を一番上にします。



2 押え上げレバーを上げ、針が穴に落ちないようにするため押えの下に生地や紙などを敷き、押え上げレバーを下げます。

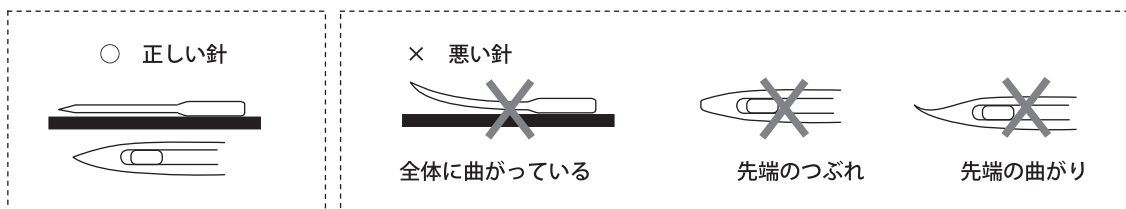


* 付属のドライバーをご使用ください。

3 外す : 取り付けられている針を持ち、針止めネジをゆるめ、針を下に引き抜きます。
付ける : 平らな面を自分から見えないように持ち、ピンに当たるまで差し込み、針止めネジを締めます。

正しい針の選び方

- ・曲がった針は使わないでください。 ・家庭用ミシン針 (HA×1) をご使用ください。
- ・目飛び・糸絡みがする場合は、ミシンについている針先が曲がっていたり、つぶれていないかを確認してください。
- ・不良の針を使い続けると、きれいに縫えないばかりでなく、針板や釜に傷をつけます。
新しい針に交換してください。



* ガラスのような平らな面に置き、針の曲がり具合を確認してください。

ボビンケースのそうじ

● ボビンケースの外しかた

ミシン本体の汚れは、やわらかい生地で乾拭きしてください。

(住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、化学雑巾は表面の色が変わるため、ご使用しないでください。)



注意



・電源スイッチを『OFF』にし電源コードプラグをコンセントから抜く。

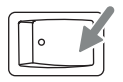
突然動くとケガをする恐れがあります。



・針先に注意する。 ケガをする恐れがあります。

準備

電源スイッチ

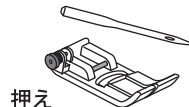


ON OFF

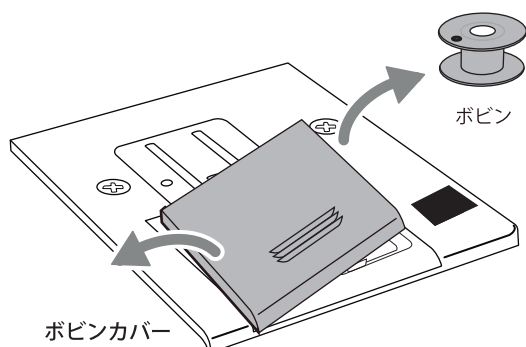


電源スイッチを『OFF』にし、
電源コードプラグをコンセント
から抜きます。

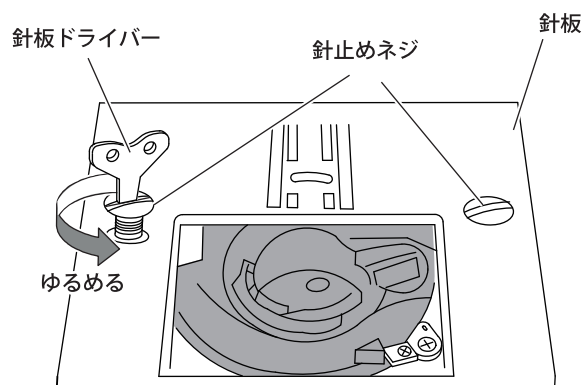
針



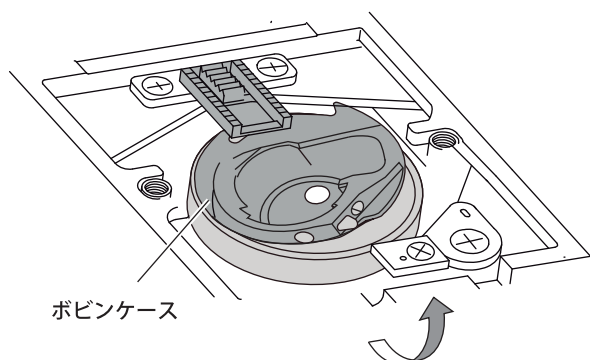
針と押えを外します。



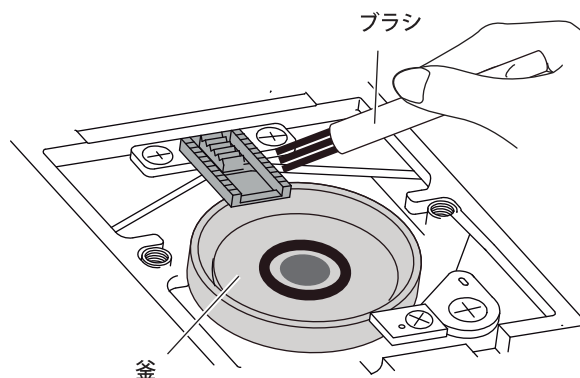
1 ボビンカバーを外し、ボビンを取り出します。



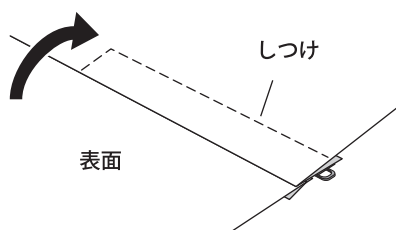
2 針止めネジを針板ドライバーでゆるめ、
針板を外します。



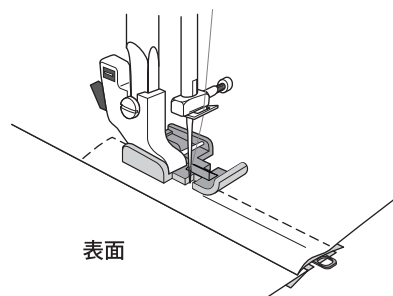
3 ボビンケースを手前に引き抜きます。



4 ボビンケース、送り歯のミゾや釜に付いている
糸くずやホコリを取り除きます。



- 6** 上生地を開き、ファスナーを閉じてから
あき止まりとファスナー右部分をしつけをします。



- 7** ファスナー付け押えを左側に付け替え、
裏に隠れたファスナー右部分を
縫い付けます。しつけ糸を抜きます。

キルティング

キルティングガイドを使用すると、縫い目を平行にそろえ、等間隔に縫い合わせることが出来ます。



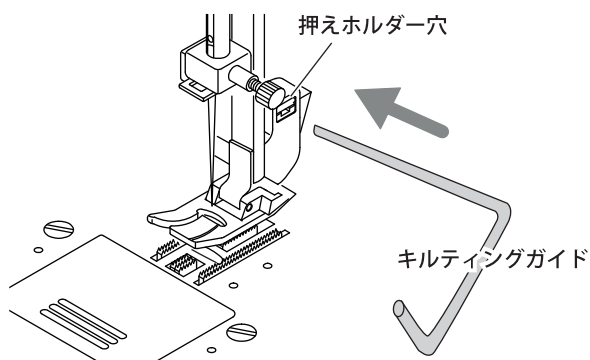
注意



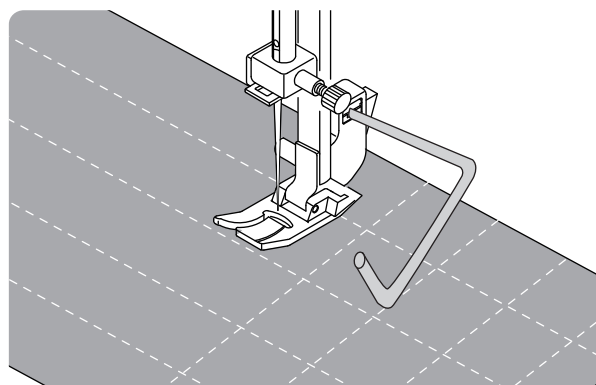
・電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。



・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



- 1** 押えホルダーの穴にキルティングガイドを
差しこみます。
(押えホルダーの左から差し込みます。)



- 2** 縫い終わった縫い目とキルティングガイドが
合うようにします。

縫い模様一覧

模様 ※1

001	002	003	004	005
006	007	008	009	010
011	012	013	014	015
016	017	018	019	020
021	022	023	024	025
026	027	028	029	030
031	032	033	034	035
036	037	038	039	040

文字 ※2

041	042	043	044	045	046	047	048	049	050
051	052	053	054	055	056	057	058	059	060
061	062	063	064	065	066	067	068	069	070
071	072	073	074	075	076	077	078	079	080
081	082	083	084	085	086	087	088	089	090
091	092	093	094	095	096	097	098	099	100
101	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	112	113	114	115	116	117	118	119	120
121	122	123	124	125	126	127	128	129	130
131	132	133	134	135	136	137	138	139	140
141	142	143	144	145	146	147	148	149	150
151	152	153	154	155	156	157	158		

※1 模様縫いはジグザグ押えをご使用ください。(ただし、007・008・009・010・011 はボタンホール押えです。)

006・015・016 は縁かがり押えが使用できます。

模様がきれいに縫えない際は、サテン押えをご使用ください。

※2 文字縫いはすべてサテン押え(透明プラスチック)をご使用ください。

困ったときは…

不具合	原因	処理
上糸が切れる	上糸、下糸の掛けかたが間違っている。	上糸、下糸を正しく掛け直す。
	上糸調子が強すぎる。	上糸調子を適度に弱める。
	ボビンケースや釜に糸くずが絡んでいる。	ボビンケースが釜の糸くずを取り除く。
	針が曲がっている。針先が欠けている。	新しい針に交換する。
	糸に結び目やコブがある。	結び目やコブの部分を取り除く。
	針や糸が生地に合っていない。	生地に合った針と糸を使用する。
	種類の異なったボビンを使用している。	種類の合ったボビンを使用する。
	糸が劣化している。	新しい糸に取り替える。
下糸が切れる	下糸の掛けかたが間違っている。	下糸を正しく掛け直す。
	種類の異なったボビンを使用している。	種類の合ったボビンを使用する。
	ボビンケースや釜に糸くずが絡んでいる。	ボビンケースや釜の糸くずを取り除く。
縫い目がとぶ	針の取り付けかたが間違っている。	正しく針を取り付ける。
	針が曲がっている。針先が欠けている。	新しい針に交換する。
	針や糸が生地に合っていない。	生地に合った針と糸を使用する。
	上糸の掛けかたが間違っている。	上糸を正しく掛け直す。
生地がシワになる	上糸調子が強すぎる。	上糸の調子を適度に弱める。
	上糸、下糸の掛けかたが間違っている。	上糸を正しく掛け直す。
	針や糸が生地に合っていない。	生地に合った針と糸を使用する。
生地を送らない	送り歯にホコリが溜まっている。	送り歯のホコリを取り除く。
	送り歯が下がっている。	送り歯をあげる。(ドロップフィード)
ボタンホールが出来ない	ボタンホールレバーがボタンホール押えストッパーに当たっていない。	ボタンホール押え外枠の手前隙間をなくす。 ボタンホールレバーを前後ストッパーの間に設置する。
模様の形がくずれる	ジグザグ押えを使用している。	サテン押えを使用する。
生地裏の糸がタオル状になる	上糸調子が強すぎる。	上糸の調子を適度に弱める。
	上糸の掛けかたが間違っている。	上糸を正しく掛け直す。
	上糸調子が弱すぎる。	上糸の調子を適度に強める。
回転が重い	釜や送り歯にホコリが溜まっている。	釜や送り歯のホコリを取り除く。

不具合	原因	処理
ミシンが動かない (ライトも点灯しない)	電源コードプラグの差し込みが不十分。	電源コードプラグをしっかり奥まで差す。
	電源スイッチが『OFF』になっている。	電源スイッチを『ON』にする。
ミシンが動かない (スタートランプが青にならない)	下糸巻き軸が右になっている。	下糸巻き軸を左にする。
	押えが上がっている。	押えを下げる。
	ボタンホール縫い模様になっている。	ボタンホール縫い模様以外の模様にする。
	ボタンホール縫い模様を選択し、 ボタンホール押えが付いていない。	ボタンホール押えを取り付ける。
	ボタンホール押えの手前枠に隙間がある。	押え上げレバーを上げ、ボタンホールの 手前枠を押しながら下げる。
	ボタンホールレバーを下げていない。	ボタンホールレバーを下まで下げる。

これらの現象、原因以外の不具合はミシン内部の調整や部品の磨耗による交換または電気系統の故障が原因となっている可能性があります。ご購入店またはお客様相談係にご相談ください。

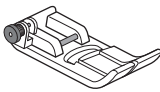
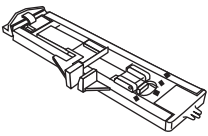
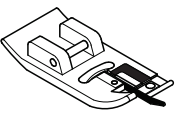
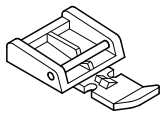
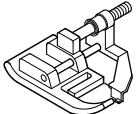
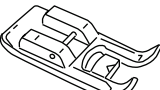
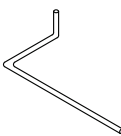
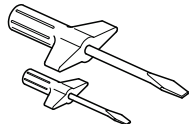
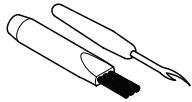
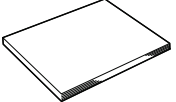
仕様

型式： SCM 988	サイズ： H30×W42×D21cm	重量： 7.5kg	電源コード： コードリール式(約2m)
最大振り幅： 7mm	最大送り量： 5mm	返し縫い送り量： 3mm	ボタンホール： ワンステップ
定格電圧： 交流 100V	定格周波数： 50/60Hz	定格消費電力： 80W	使用針：家庭用ミシン針(HA×1)
セーフティロック： モーターロック後<3秒>で停止		回転速度： 120～700rpm	
ボビン：家庭用プラスチックボビン(高さ11.5×20.5mm)		釜タイプ： 水平全回転釜	

純正補充部品のご案内

このミシンでは一般的な家庭用ミシン部品が使用可能ですが、市販部品にはこのミシンに適合しない部品もございますので、お求めの際には純正部品のご購入をお勧め致します。

* 下記の価格表には送料 (210 円) は含まれておりません。

				
ジグザグ押え	ボタンホール押え	縁かがり押え	ファスナー付け押え	まつり縫い押え
525 円	1,525 円	840 円	630 円	1,050 円
				
サテン押え (透明)	キルティングガイド	針板ドライバー	糸こま押え (大・小)	ドライバー (大・小)
840 円	1,260 円	105 円	各 210 円	各 105 円
				
リッパー (ブラシキャップ付)	家庭用ミシン針 5本セット	ボビン 10個セット * 水平釜用ブラボビン (11.5×20.5mm)	取扱説明書 (本書)	ボビンカバー
105 円	315 円	525 円	525 円	315 円

* 上記の部品、送料価格は 2011 年 5 月現在の価格です。予告なく変更する場合がございますことご了承願います。

* 上記の部品以外にも取扱いがございます。詳しくは下記『部品請求問い合わせ先』までご相談ください。

送料は 1 回の発送につき『全国一律 210 円』(税込・離島を含む)となります。
複数の商品をご注文いただきましても、送料は 210 円となります。

* フットコントローラー、ハードケースの送料は実費となります。下記『部品請求問い合わせ先』までご相談ください。

● ご購入方法

部品価格と送料を合わせた金額を下記の口座にお振込み願います。商品は日本郵便 (JP) よりご入金を確認取次第発送となっておりますので、お振り込み後お手元に届くまで約 10 日前後お日にち頂戴致します事ご了承願います。

* 振込み手数料はお客様負担をお願い致します。

振込先：日本郵便 (JP)

口座番号：00970-7-39524

口座名：株式会社 アックスヤマザキ

通信欄：お使いのミシンの型式 < コンピューターミシン FL シリーズ > ・ご注文いただく商品名

* お客様のご住所、お名前、お電話番号記入欄ございませのでそちらも併せて、ご記入お願い致します。
 (ご記入頂きましたご住所へ商品をお送りさせていただきます。)

● 部品請求のお問い合わせ先



フリーダイヤル：0120-405-851

月～金曜日 午前 9：00 ～ 12：00 午後 1：00 ～ 5：00 (土曜 / 日曜 / 祭日休み)

修理サービス要領

●修理サービスのご相談

1. このミシンのご購入者には、ご購入店から1年間の「無料修理保証書」が発行されます。内容をお確かめの上、大切に保存してください。
2. 修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますので、ご相談ください。
3. 修理サービスについてお問い合わせやご不審のある場合は、ご購入店または、お客様相談係へお申しつけください。

●修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、ご購入の日から通常8年間は必要に応じて当社よりご購入店に供給できる体制を整えております。

●無料修理保証期間後の修理サービス

1. 取扱説明書に基づいて、正しい使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過しても修理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスをいたします。
ただし、次に該当する場合は、有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店にご相談ください。
イ. 保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき。
ロ. 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
ハ. ご購入後の移動または輸送によって不調、故障、損傷したとき。
ニ. ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解、または改造したために不調、故障または損傷したとき。
2. 長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によって元どおりに修復できないことがあります。
3. 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料金の合計額となります。

サービス工場のご案内



純正部品のご購入は、購入店または下記のサービス工場へお申し込みください。

ご購入頂きましたミシンは、下記の専門工場で点検修理等のサービスを致します。

なお、サービスには有償修理点検と無償修理点検とがあります。サービス工場にお問合せください。

※ ミシンを工場へ送付されるときは、このミシンの箱と緩衝材（クッション）をご利用ください。

送付先

〒544-0022 大阪府大阪市生野区舍利寺 3-12-5

株式会社 **アックス ヤマザキ** ミシンサービス係 行き

TEL:06-6717-5851 FAX: 06-6741-7875

 **フリーダイヤル: 0120-405-851**

月～金曜日 午前9:00～12:00 午後1:00～5:00

(土曜 / 日曜 / 祭日休み)

ミシン 保証書

形 名		機 械 番 号		※印欄に記入のない 場合有効とはなり ませんから、必ず 記入の有無をご確 認ください。もし、 記入がない場合に は、直ちにお買い 上げの販売店にお 申し出ください。 本書は、再発行致 しませんので、紛 失しないように大 切に保管してくだ さい。
※お買い上げ日	年 月 日	保 証 期 間	お買い上げ日より本体 1年	
※お 客 様	ご住所	〒 TEL 様方		
	フリガナ ご芳名	様		
※販 売 店	住 所	〒		
	店 名	TEL		

無料修理保証に付いて

1. 無料修理保証期間（ご購入の日から1カ年間）内に故障が発生した場合は、無料で故障箇所の修理調整、または故障部品の交換をいたします。
2. 無料修理保証は表記ミシン頭部のみとし、ケース、針及び電球、消耗部品を除きます。
3. 無料修理保証をお受けいただくときは、この保証書を提示してください。
4. 保証機種がコンパクトミシンまたは、軽量可搬のポータブルミシン等であるときは、そのミシンを購入店へご持参、またはご相談ください。

無料修理保証が受けられない場合

次のような場合には、保証期間内でも保証の対象とはなりません。

1. 「取扱説明書」に記載してある使用方法または、保存方法と異なる方法によったため不調、故障または損傷したとき
2. 浸水、冠水、火災、天災地変により不調故障または損傷したとき。
4. ご購入店、または当社で指定した販売店、サービス店以外で修理分解または改造したために不調、故障または損傷したとき。
5. 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
6. 特別なご依頼により点検、精密検査または分解掃除等をしたとき。
7. この保証書のご提示がなかったとき。
8. この保証書に購入年月日、ご購入店名の記載または捺印がなかったとき。
9. この保証書の字句の訂正または書き換えをしたとき。
10. この保証書は日本国内に限り有効といたします。This warranty is valid only in Japan.

有償修理について

1. 上記の1.～10.に該当する場合、その他有料で修理するときの費用は、別に定める必要部品代出張費および技術料の合計額といたします。
2. コンパクトミシンまたは、軽量可搬のポータブルミシンを、無料修理期間中にお客さまのご依頼によって販売店が主張修理する場合は、別に定める出張費をいただきます。

お問い合わせまたはご相談先

この保証書に記載してありますご購入店または、取扱説明書の「サービス工場のご案内」に記載された「お客さま相談係」へお申越しく下さい。

お客さまへのお願い

1. この保証書は、本書によって明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客さまの権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理について、ご不明の場合はご購入店または、当社の「お客さま相談係」等へお問い合わせください。
2. 「取扱説明書」の「修理サービス要領」をよくお読みください。
3. この保証書は紛失されても再発行いたしませんので、大切に保存してください。



【保証責任者】株式会社 アックス ヤマザキ

〒544-0022 大阪府大阪市生野区舍利寺 3-12-5

TEL : 06-6717-5851